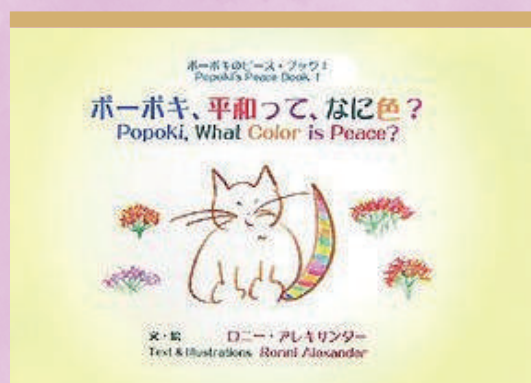


令和4年度(2022年度)

国際教育

地球市民を地域とともに育てよう Part 21

報告書



公益財団法人滋賀県国際協会

目 次

◇ 目 次	1
-------------	---

実績報告

◇ 国際教育ワークショップ	2
---------------------	---

地球市民を地域とともに育てよう Part 21

「平和って、なんだろう？」

ねこのポーポキと一緒にかんがえよう」

講 師 ロニー アレキサンダー さん

神戸大学名誉教授

ポーポキ・ピース・プロジェクト代表

開催日 2023年1月7日（土）

会 場 ピアザ淡海

主 催 公益財団法人滋賀県国際協会

共 催 独立行政法人国際協力機構関西センター（JICA関西）、
国際教育研究会 Glocal net Shiga

◇ 国際教育教材体験フェア in 滋賀 2022	15
--------------------------------	----

開催日 2022年8月10日（水）

会 場 ピアザ淡海

主 催 公益財団法人滋賀県国際協会

共 催 独立行政法人国際協力機構関西センター（JICA関西）

協 力 国際教育研究会 Glocal net Shiga

資料集

◇ 滋賀県における外国人人口統計	26
◇ 国際教育研究会 Glocal net Shiga 活動報告	27
◇ 国際教育・開発教育貸出教材の紹介	29

実践報告

国際教育ワークショップ 報告

地球市民を地域とともに育てよう Part 21

「平和って、なんだろう？」

ねこのポーポキと一緒にかんがえよう」

国際教育教材体験フェアin 滋賀 2022報告

平和って、なんだろう？ ねこのポーポキと一緒にかんがえよう

開催日：2023年1月7日（土） 10：45～16：30

会 場：ピアザ淡海 305会議室（大津市） 参加者：16人

主 催：公益財団法人滋賀県国際協会 共催：JICA関西 Glocal net Shiga

■講師の紹介

神戸大学名誉教授

ポーポキ・ピース・プロジェクト代表

ロニー アレキサンダーさん

1977年にイエール大学（BA、心理学）卒業後来日し、広島YMCAで働く。国際基督教大学大学院（行政学修士）、上智大学大学院（文学博士、国際関係論）。院生の頃から平和学会員。1989年に助手として神戸大学法学部に赴任し、1993年に国際協力研究科教授（法学研究科兼務）を経て現職。2017年4月からは同大学男女共同参画推進室長、2018年から2022年3月までダイバーシティ担当学長補佐を務める。

研究テーマは、「生き物はどうすれば、安心して暮らすことができるのか」。安全安心、ジェンダー、軍事化、アートを中心に平和研究・教育・運動に従事。2006年にポーポキ・ピース・プロジェクトを立ち上げ、3.11以来東北で寄り添う活動を継続。多数の学術論文の他、著書に平和の絵本シリーズ『ポーポキのピースブック1～3』（エピック）、『セクシュアルマイノリティ第三版』（共著、明石書店2012年）など。最近では『ポーポキのマスクギャラリー～コロナ禍でアートを通して日常の安心を探る』（神戸大学出版会、2022年2月22日発行）を執筆。



今日の流れは、午前中は勉強の時間、午後は動きをつけていく。コロナ禍なので動きを押さえ、接触は避けるようアクティビティを省いていることは了解いただきたい。話したくないことは話さなくてもよい。お互いのプライバシーを尊重しながら、本日は進めていきたいと思う。

午前の部

1. アイスブレイク

ポーポキとは、ハワイ語で
ネコのことだよ。



① ポガ（ポーポキのヨガ）

今日はお手伝いの「さとにゃん」さんによるポガ（Poga）からスタート。体をほぐす、肩甲骨を動かすと、副交感神経が刺激されてリラックスでき、頭がさえるのでおすすめ。

② グループでの自己紹介

【今年の目標について表現する】

私は今年、何をを目指すかと考えたとき、「成長したい」と思った。まず、個人で今年のテーマを考えて、好きな形の付箋に記入し、グループで共有する。そのあと、みんなが書いた付箋を使って何か好きなものの形に見立てて配置し、グループ名を考え、机の上に貼る。自分の付箋は、好きな形に切り抜いてもよい。



グループで作った形の例：コタツに入っている様子、月見をする猫など

2. ロニー先生の自己紹介



ベトナム戦争の時、私はアメリカで中学生だった。学校をさぼって反戦デモに参加したりした。なぜ、お兄ちゃんたちが死にに行かなくてはならないのかということが疑問

だった。自分の土地で死ぬならまだしも、遠いところに行って死ななければならない理由がわからなかった。

でも内心、平和運動はダサいと思っていた。平和運動の声が大きい印象だったが、それは私の間違いだった。平和運動は、あれだけの大きなうねりとなり、アメリカが戦争継続を断念したので効果はあった。反核運動は朝鮮戦争やベトナム戦争での核兵器の使用を止めた。

大学を出たあと、広島で働くため来日した。1977年当初は2年間の予定だったが、まだいる。原爆のことを学んで、恐ろしいとも思ったが、ずっと広島にいと、戦争は「ヒロシマ・ナガサキ」、戦争は核戦争、大規模な戦争という声に圧倒され、小さな戦争がたくさんあるのに、それらはどうするのかという気持ちもあった。

元々、どちらかといえば人間よりは四本足の動物が好きなので、環境保全の問題に興味があって、それも「平和」に関係があると考えていた。平和って何かと疑問を抱き、広島時代にアメリカの核実験のことを知って、大学院に入って非核太平洋の研究をはじめた。現在は、太平洋の島々の軍事化やジェンダーの研究を継続している。例えば、沖縄から見る米軍基地とグアムから見る米軍基地は全然景色が違ふこと。また、東日本大震災のあとはアートのプロジェクトをはじめたことで、アートの力とナラティブ（語り手自身が紡いでいく物語）に興味を持って研究や平和活動に取り入れている。

私の専門は平和学だが、私にとって、それを実践するには、「平和研究+平和教育+平和運動」の3つが揃っていないといけない。そういう思いで、すべての生き物が安心して、平和に

暮らすためにはどうしたらよいか、どうしたら実現できるかを考えることをライフワークとしている。

鉛筆とノートを使うだけでは、平和をつくることができない。ウクライナではいったいどうなっているの？第3次世界大戦はいつ始まるのか？研究も大事だけど、声をあげることも不可欠だ。

本当の平和のことを私たちは知らないので、もっと想像力をたくましくして、頭だけでなく、心や全身、感性などすべてを使って、何か新しいものを作れないか、なぜ「歴史」では戦争の事を中心にしか扱われず、どうして病気は死んだ人しかカウントされないのか…。何か違うものがあるのではないかと思い、18年前にポーポキ・ピース・プロジェクトを立ち上げた。

3. ポーポキ・ピース・プロジェクトについて説明

参照 <http://popoki.cruisejapan.com/>

日本は「平和ボケ」と言われることがあるが、それは本当の平和だとは思わない。

「あなたは真の平和を体験したことがありますか？」答えは、だれも体験したことがない。体験したことがなければ、イメージすることができない。作れなくはないけれど、作りにくい。一人では平和は作れないと思う。私たちの「知る」ということは身体から始まるので。ポーポキはもっと大きな心と大きな想像力を育てて、そこから生まれてくるものを期待するだけでなく、ポーポキと出会うことで「この平和であれば私にもできる」と見つけて行動に移すことを目指している。



留学生もこのプロジェクトにたくさん参加していたが、彼らはなぜ参加するのか。その理由として考えられるのは、いろんなバックグラウンドがある人たちが平和を願うから、そして留学生は一般的に自国を背負っていることが多いが、ポーポキの活動では、それを背負わなくてもよいからだと思う。どんなひとでも、あるがままで参加できる場所を目指している。

平和はシリアス、大変な問題だけど、笑っていいし、楽しんで、リラックスしてよい。ワークショップの最後には、みんなの表情が変わっておだやかになる（笑顔になる）。それを「ポーポキ・マジック」と呼んでいる。



阪神淡路大震災を経験しているが、東日本大震災が起こったときには、3週間後にボランティアバス先遣隊が神戸から出て、私はそれに招待され、ポーポキチックなことがやりたいと思い、5メートルの横断幕を用意し、端にポーポキの絵を大きく描いて避難所に持ち込んだ。それにみんながすごい勢いで絵を描きはじめた。びっくりするぐらいにみんなが絵を描いてくれた。

最初は、高校生がお友だち、おばあちゃんと楽しそうに描き始めた。自分たちが飼っていた猫たちの絵だった。まだ発災後3週間ほどのことで、周りに家族を亡くした方たちがおられる環境の中で、いなくなってしまった猫のことで涙を流すことができない状況だったという。彼女は絵を描いたことで初めて涙を流すことができた。言葉にできないこと、したくないことであっても、絵は絵だけで物語だとわかり、今でもこの活動を続けている。

ある日、被災地の方に、「東日本大震災の被

災地には、海沿いに4.5メートルの大きな壁（堤防）ができるらしいけど、それで安全になる？」と聞いたら、「うーん」という。では、これで安心できるかと聞くと、「とんでもない」という答えが返ってきた。海が見えなくなるので、海の変化がわからなくなるし、この壁に守られていると思って逃げなくなるかもしれないと言っていた。私はそれを聞いて、確かに安全・安心を分けて考える必要があると思った。一緒の時もあるけど、安全であっても安心できないときもあるし、安心しているのに安全でないということもある。福島の人々が、原発事故の後、「全然安全でいられないので、まずは安心させようとしている」と、まったく逆のことを言っていた。ポーポキでは安全づくりはできないが、みなさんの中の安心をどう引き出すかをいろいろと考えて活動している。



Figure 11.70. Loss of hair in child exposed to approximately 175 roentgens of gamma radiation.

http://1.bp.blogspot.com/_8adFNycaanI/SQzUpmIIy5I/AAAAAAAAAN I/ho9kfE3ChzI/s400/ENW+1957+32.JPG

平和教育や原爆などについて教えている方の中には、この写真を見たことがあるかもしれない。これを広島長崎での写真と思う人がいるかもしれないが、これはマーシャル諸島の方の写真である。放射能を浴びた方である。私は、たまたまこの方と雑談をしたことがあるが、ビキニ諸島の役場の一階でくつろいでいるところに布を持ち込み、絵を描いてもらった。海面上昇のために安心できないので引っ越さないとなら

ない状況もある。

また、コロナになって思うように活動ができなくなり、イライラしながら、Facebookにマスクを着けたポーポキのイラストを毎日のように3年近く掲載した。これを学会のポスターセッションで使うこととなったので、3分ほどの映像をここで紹介する。

私は反戦活動に参加はしたが義務教育だったので中学は卒業でき、無事高校へも進学できた。当時、大好きな音楽の先生がおられた。先生はその後、作曲家の活動をはじめ、テレビ音楽を作曲される有名な方になられたのだが、私が岩波書店から発行した教材「平和ミュージアム」に収録されている映像の音楽をその先生が作曲してくださった。先ほど紹介した映像にも、その先生が音楽を作ってくださった。先生という職業は、知らないところで人の人生を変えていますよね。

4. 平和学から考えた「平和」

1) 「消極的な平和」・「積極的な平和」について

グループディスカッション「平和の定義とは？」

戦争がないこと、貧困がない、差別がないなど、〇〇がない平和というのは、「消極的な平和 (negative peace)」という。これで満足してはいけない。

では、「積極的な平和 (positive peace)」とは何か。そもそも平和の文化とはなんだろう？ということもあるが、平和の文化が確立されているところや、社会的正義、公正、公平が徹底されていること。紛争が次いつ起こるか分からない状態だが、紛争や対立を平和的に解決するためにはどうするか。プーチンはウクライナに侵攻するところまで行かない。100年前のことまで遡ってからの平和づくりをしなければならぬ。やはり、自由や充実感、みんなの可能性など、失敗やがっかりがあっても、いろいろな機会があるようにしなければならない。避難物資でもらう菓子パンでお

腹を満たすのではなく、おいしい、栄養のある食べ物、きれいな水があるというのが、ポジティブ・ピース (積極的な平和) が目指すところである。しかし、世界的にみると実現は遠く、まだまだ十分ではない現状にある。

世界で初めて、消極的な平和でも積極的な平和ではないけれど、そうでない中間の何かしらの状態に名を付けたのは、インドのSugata Dasguptaさんである。非平和 (平和ではない状態 peacelessness)。平和の反対語は戦争ではなく「非平和」。モヤモヤ状態。

昔から平和を論じる哲学者や政治学者はいたが、平和学となったのは、第二次世界大戦後、平和とは何か、こうした戦争を防ぐためにどうすればよいかという議論が始まり、「暴力の不在」ということをノルウェーのヨハン・ガルトゥングが定義した。

平和は、暴力の不在

暴力がないということは、誰においての暴力がないのか、どういう暴力がないのか。私が考える平和はたくさんある。たとえば、自然との平和、自分 (自分の心) との平和、他人との平和 (個人レベルでのマイクロアグレッションがいろんなところであると思う)、集団間の平和 (集団同士は仲がいいのか?) といった問題。平和や暴力というのは、人間だけのものなのか、もっと広い範囲なのか…も考えるべきものの一つ。

ガルトゥングは、「平和学の父」とされていて、よく引用されている。彼がPositive/ negative peaceを提唱し、平和の定義をした。ベティ・リアドンはもっと包括的な平和、積極的な平和、それは何なのかということ突き詰めていった。

では、暴力がなければよいとされるが、何が暴力なのか？ 力、侵害としての暴力。苦しみなどを与える暴力があると思うが、たとえば視点を変えて、治療が不可能な病気で死ぬのは仕方がないとされることに対して、コロナの最初の頃は死んでも仕方がないと考えられていた。しかし、治療法ができた後は、貧困の状況にあ

る人達はその治療にアクセスできないという状況にある。これも暴力。いろんな理由で治療が受けられないということがあるが、可能なのにできないというのは暴力。

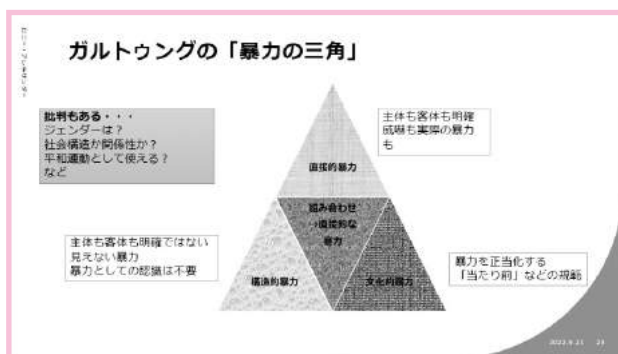
ベティ リアドンは、人間の間のことに限定して、人間の関係性の中で意図的でなければ暴力にならないとしている。また、家父長制の問題を解決しなければ、平和にはならない、暴力をなくすことはできない、戦争の原因になるような暴力性があると言っている。

2) 暴力の構造について

① 「直接的暴力」「構造的暴力」「文化的暴力」

ガルトゥングが提唱した、構造的暴力。
構造的暴力とは、その構造がなければならぬ、暴力的な関係性に置き換えることができるかもしれない。

直接的暴力とは殴ったり、殺したり、戦争したり。それに対して、貧困や目に見えない誰のせいかわからないような状態は「構造的暴力」。関係性が歪んでいて、どこかがより強い力で抑え込まれている。



文化的暴力とは、暴力を正当化するためのもの。例えば、夫は妻をしつけるために殴ってもいい、これはDVではなく文化だから許すべきだとか、一夫多妻制も文化的にOKだといって、文化を使って暴力的な関係性を裏付けること。直接的暴力と合わさることもある。コーランを持ち上げ、あるいは聖書を持ち上げ、正当性を掲げて戦争することもある。宗教の使い方だと思う。

「声を出して1～10まで数えましょう」

約10秒。この10秒間で世界では5歳未満の2.5人の子どもたちが亡くなる。この小さな子どもたちは、災害や戦争などが原因で命を落としているのではない。きれいな水がない、十分な食料がない、基本的な医療がないために亡くなってしまう。これが「構造的暴力」。あるいは、コロナにかかるのは、誰だっにかかるかもしれない。私たちは希望すればワクチン接種ができるが、世界には受けられない人たちがいる。これも「構造的暴力」だ。

これはみんな「暴力」

野良猫の去勢手術

…本人の意思を確認していないから暴力か。

ロックダウン

…権力と暴力はよく結びつくところ。

夫婦のケンカ

…直接的な殴り合いでなくても、言葉の暴力もある。



3) グループワーク

「あなたのまわりに「暴力」はありますか？」

各グループでディスカッション

私は女性だが、先日、外を歩いていた時に、年配の女性が近寄ってきて、「外人さんだよね？」、と。久しぶりに「外人さん」と言われた。そして、「やっぱり外人さんって、男前だね」と言って去って行かれた。思わず爆笑した。これって、構造的暴力かな…？とも思った。

午後の部

今、モヤモヤすることが世の中でたくさん起こっている。コロナや、なぜウクライナだけ注目されているのか、イエメンは、ミャンマーはどうなっているのか？など、平和学を実践する者として、それぞれの問題に興味を持っている。けれど、どうしたらいいのかは私自身もモヤモヤしている。今日はその一つ一つを話し合うことではなく、それらを考えるための足元での土台を作ることを目的にワークショップを行っている。平和を考えるしっかりとした土台がなければ、モヤモヤから脱出できない。脱出するためには、いろんなインクルージョン、ダイバーシティなどで、どうして戦争に至ってしまっているのか、きれいごとでは何を隠そうとしているのか、足元の汚いところを見る必要がある。そのためには、対話やボディランゲージなど、コミュニケーションの能力がなければ、インクルージョンできない。それもあって、どうやって土台をつくるのかに重点を置いている。私自身もLGBTQの講演をする機会が多く、若者たちから言葉の暴力、マイクロアグレッションに遭っているとよく聞くことがある。なぜ周りの人たちがわかってくれないのかというモヤモヤがある。

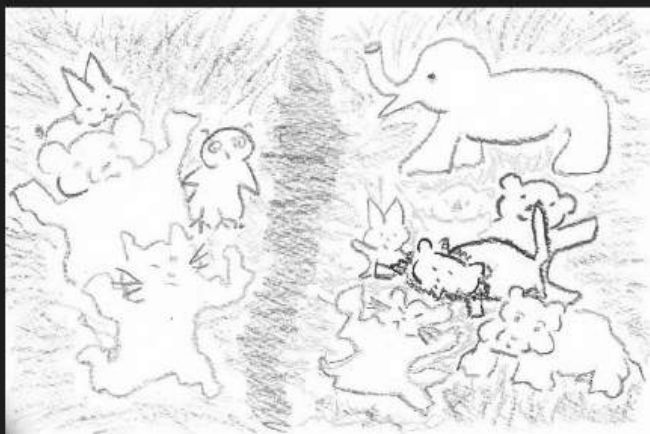
そこで、私のモヤモヤの物語を共有したいと思う。

私は子どもにはもちろん、頭が固くなった大人とか、プライドが少しある大人とかに、違うところに視点を置くことで、そこから話が始まるのではないかと思い、物語をツールとして使った実践を行っている。

5. さとにゃんさんによる絵本の読み聞かせ

絵本【もやもや、そしてポーポキ】 作：ロニー アレキサンダー





しかも、それぞれの仲間がケンカに入ってきてしまいました。もともとのケンカじゃなくなりました。
そして、やめません。

And others have joined the fight on both sides. It has become a different fight. And they won't stop.



ポーポキはつぎつぎと
質問を考えました。
仲間と話し合うことを
はじめました。ケンカを
応援している仲間にも声
をかけはじめました。
だって、ケンカは
たのしくない！
痛いし、悲しい。

Popoki thought of more and
more questions.
He started to discuss them
with his friends. He invited
friends who were
supporting the fight to join
him, too.
After all, fighting isn't fun!
It hurts, and makes
everyone sad.



明日は みんなの努力が実るかもしれない。

明日でなければ、あさってかもしれない。

ず〜と先かもしれない。

けど、小さな平和からでもつくろうよ。

Tomorrow, our work might bear fruit.
If not tomorrow, then maybe the next day.
Or perhaps not for a long, long time.
But let's try starting with just a little peace.

6. コミュニケーション力をつける アクティビティ「ピクとポー」



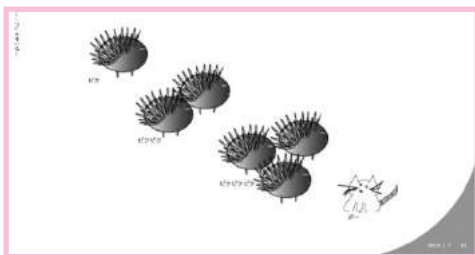
私が最近描いた
「ピク」と「ポー」
のストーリーを使っ
て、みなさんに遊ん
でもらいたい。

二人一組になり、それぞれピク役とポー役の
どちらかを決めてからセリフを読むというアク
ティビティを紹介。この絵本を見て、どのよう
に表現してセリフを読むか。コミュニケーション
はとても大切である。ちなみにセリフは、
「ピク」と「ポー」しかない。

(会場では、自然に笑顔と笑い声に包まれた。)

体験してみると、相手によって、まったく表
現が異なる。関係性によって表現にバリエー
ションがある。とっても簡単で、面白いと思う
ので、ぜひ使ってもらいたい。

参加者に、この「ピクとポー」が何を表現し
ていると思うかと尋ねると、自己表現ができな
い人の話だとか、怒っている人の話だという意
見が出てくる。では、「ピクは何だと思いなが
らセリフを読んでいたのか？」と問いかけると、
「栗？あとで顔が出てきたので動物？」
「ラブストーリーかと思った」という意見も出
てきた。



実は、これは私が帯状疱疹になったときの神
経痛のチクチクとした痛みから発想して作った
もの。大人も子どもも喜べる、楽しめるものにな
っている。

7. ポーポキ劇場 紙芝居読み聞かせ

各グループに2～3枚ずつ紙芝居を配布。そ
れを用いて、参加者が順に読み聞かせを行った。

絵本「平和ってなに色？」と「元気ってなに
色？」からの数ページを参加者が順に読み上げ
た。



「平和ってなに色？」

参加者が紙芝居を読む都度、講師から質問が
投げかけられた。

Q. あなたの今日の平和の色は？

→A. 「青色」

Q. 友情ってどんな感触？

→A. 「柔軟剤の香るようなやさしい感じ」

Q. ひとりの平和ってある？

→A. 「あるときもあるし…」

相手が平和でないとき、あなたは平和になれる？

私自身、1989年頃に外国人という理由で入居
を拒まれた経験がある。また、法学部の助手を
していたとき、民法の先生に猫を飼ってはいけ
ないアパートで猫を飼ったら追い出されるだろ
うかと相談したこともある。今回の紙芝居の中
に出てきたストーリーは、実際の体験に基づく
ものからできている。

8. 平和って何だろう

グループディスカッション「平和って、 なんだろう？」五感で考えてみよう

さきほどの紙芝居の中で、音楽なども出てき
た。平和の音として子守歌などがあるかもしれ
ない。音楽が大好きな作曲家は戦時下では戦争
を先導するような音楽を作らされる状況になる
こともある。これは、その人にとっては平和で
はない。掘り下げていくとわからなくなってい
くのが、五感のすばらしいところ。



国内だけでなく、海外でもこのポーポキのワークショップを行っている。紛争地はなぜ紛争地になるのかを考えるには、実際に自分たちの目で見たり、感じたりしないと考えられないと思い、現地でもワークショップを実践している。パレスチナに訪問した際、平和の色を尋ねるといろんな色を言ってくれたが、「絶対に水色だけは選びません」と言っていた。なぜなら、「水色はイスラエルの国旗の色だから」と。自分の好きか嫌いかといったことだけではなく、様々な事情が、たった色を尋ねるだけのシチュエーションであっても出てくる。これは、自分たちの経験の中から出てくる言葉で、何かを読んでわかるものでもなく、その人の経験を全部見てもわかるものではなく、何かの時にその人のもつ何かを考えるというところからなってきた。答えを切り取ることはできない、世界はいろいろなことがつながっているのだなということを実感した。みなさんにも、こういう話を聞くことで、何かどこかでつながってもらえたらと思う。（さとにゃん）

パレスチナで、どうやって平和をつくるのか真剣に考えた。非暴力がどうやって実現できるか、ポーポキに何ができるか考え、挫折したが、当事者がしないと意味がないという思いに至った。外の人から平和にしろと言われても、継続できない。ポーポキは平和を作ることにはできないけれど、希望づくりには貢献できるかもしれない。外から支援する、平和を語る機会を与えるだけであっても、希望づくりに貢献しようと思ったのもパレスチナで感じたことだった。

東ティモールでも一度国連警察に誘導されながら空港に向かう私たちを、「これって非暴力・平和じゃないよね」と感じたこともある。いろいろな関係性の中では、平和はあるし、私たちが使っている「平和」という言葉や概念は実はいろいろと混ざっている。お互いに「平和」を使っている、同じ次元で話しているとは限らない。価値観も。日本は平和の規範があるから、何もしなくてもいいという話もあるが、実態や理想などいろいろな平和はあるが、様々な次元があるということも知っておいてほしい。

学部生を対象に平和主義について話をすると、びっくりされることがある。平和主義は、戦争に反対する、暴力に反対するということであるが、平和主義は役に立たない、理想でしょとよく言われる。武力で平和を作らなくてはならないという人もいる。だが、武力で平和をつくると、次の紛争までの間だけ平和になるだけのこと。平和主義の根底にあるものは、暴力をどう使うか使わないか。平和を維持するためには、どのように使うか、必要か必要でないかということ、第三次世界大戦が今にもはじまりそうなこの時期に考えることがとても必要である。武力を絶対に使わないという立場もあれば、基本的には使わないが必要に応じて使用する、現状維持を目指す平和主義、新しい社会の在り方を目指す平和主義など様々である。

9. あなたが理想とする平和主義は？

グループディスカッション

「あなたが理想とする平和主義は？」

最近、私が教えている大学生のなかには、日本は核兵器を持つべきだとか、武装したほうがよいと思ったりする傾向がある。北朝鮮からミサイルが飛んでくるたびに、そうした考えが出てくる。外国人に対しては、表面的にはウェルカムだけど、ちょっと深い話になると、日本人がいいな…という雰囲気になる。

一番気になるのは、例えば、第五福竜丸が被ばくした話も、日本人が巻き込まれていたから重要だという考え。もし、被ばくした中に日本人がいなかったら、許せるものなのか。

日本を中心にものを考えるのは当然だとは思いますが、大学生たちは世界をそんなにも見ていないのだろうか、平和学の先生たちにもっとがんばれ！という気持ちになる。太平洋の海底資源開発についての問題を取り上げて、英語で検索すると、科学的に説明した賛成・反対両方の立場の動画が見つかる。しかし、日本語で検索すると、日本近海で（海底資源開発に）成功して、日本は大丈夫だという映像ばかりでがっかりする。こんな情報しか見ていない環境にいると仕方がないのかとも思う。もっと世界に目を向けてみよう！

10. グループワーク「平和の課題」

世界には深刻な課題がある。以下から最も深刻な「平和の課題」を5つ選んで、グループでランキングしてみよう。

【選択肢】

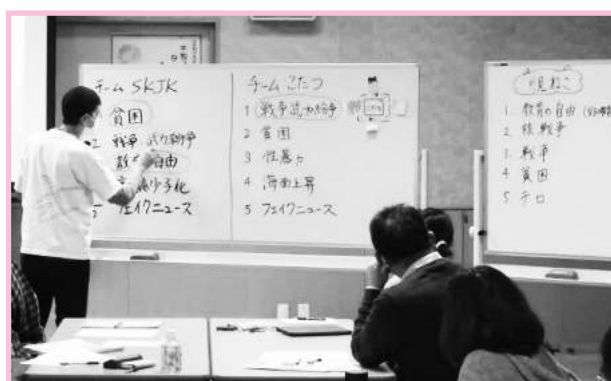
海面上昇、戦争・武力紛争、テロ、貧困、性暴力、核戦争、フェイクニュース、少子高齢化、プラスチック問題、女子教育、災害、LGBTQI+差別、感染症、難民、依存症、教育の自由

【各グループの話し合いの結果】

<チーム SKJK> 1 貧困 2 戦争・武力紛争 3 教育の自由 4 少子高齢化 5 フェイクニュース 選択肢の中に「人権問題」がないという意見もあった。少子高齢化は、自分たちですぐどうにかできる問題ではないと考えた。	<チーム こたつ> 1 戦争・武力紛争 2 貧困 3 性暴力 4 海面上昇 5 フェイクニュース まともらなかった。戦争と貧困が二大悪と考えた。
<チーム 月見ねこ> 1 教育の自由 2 核戦争 3 戦争 4 貧困 5 テロ それぞれで5つ出し、多数決で5つに絞った。 知識がないからテロや戦争が起こるのではないかと考え、「教育」を一番にした。社会基盤、フェイクニュース、差別なども出たが、人間関係を大事にしなければならないという意見が出た。	<チーム ピース> 1 戦争 2 貧困 3 少子高齢化 4 災害 5 女子の教育 性暴力 女子に対する開発国での教育と、先進国でのアニメなどで商品化され性的対象となっていることが問題。性暴力、異教徒の女性は性的対象・レイプの対象となり、その宗教の方たちがフランスなどでは排斥・差別の対象となっていることが問題ではないかと思い追加した。

ここからさらに5つに絞り込む。内容的に近いものを合わせるなどして、以下の5つに絞った。

- ① 戦争・武力紛争
- ② 貧困
- ③ 教育
- ④ 少子高齢化
- ⑤ 災害・海面上昇



課題と自分との距離をカラーモールで表現する

次に、この5つの課題それぞれに対して、自分自身との距離をカラーモールの長さで表すアクティビティを体験。まずは各課題に対して、個々に心理的に感じる距離を実際にハサミを使って、モールの長さで表現する。その後、グループのメンバー全員のモールをつなぎ合わせて、ホワイトボードに貼り付けた。

- モールの長さが短いほど身近な課題、長いほど遠く感じていることが一目でわかる。
- 「戦争・武力紛争・テロ」に対して、自分との距離が遠いと感じている人が多かったことにロニー先生は少し驚かされていた。



コンセンサスを取ろうとしたが、みなさんの違いが出てくる。班の中でも違いが出てくるので、それを見るのも面白いと思う。

コロナ以前は、各課題に対して自分自身が感じる距離感を床に敷いたロープの上に立つ位置で表現してもらっていた。コロナが落ち着けば、とてもインパクトのあるアクティビティなので使えると思う。

また、みんなから課題を出してもらってから、緊迫度合いを考えてもらうというワークもできる。

遠い問題の方が考えやすく声を上げやすい。身近な問題は、話しづらいということもある。本当は、貧困はもっと身近にあるのではないかといった話し合いもできると思う。

このように、内容的に重い課題でも、作業を入れると話し合いがしやすくなる。このような緊迫する問題に対して、自分たちが感じている距離はどうか、さらに平和につないでいくために、何が必要・有効かについて、今日は作業としては省いたが、次のような選択肢を提示し、選んでもらうこともある。

【選択肢】

多様性、自然、自由、安心、安全、富、武器、創造性、クリエイティビティ、衣食住、行動力、友情、元気、命、芸術、教育、信頼、コミュニケーション、愛、法律、希望、正義など

休憩後、ポガ（ヨガ）で活動再開



11. お絵描きタイム

「泣いているポーポキに平和と安心を！」

状況 ポーポキが泣いている！

課題 グループで5枚（5コマ）の絵を描いてオリジナルの物語（ストーリー）をつくる
言葉をつけても、無言の絵だけにしてもよい。



【グループ発表】

1.



迷子になった子ねこちゃん「どうしよう。おうちはどこ？」

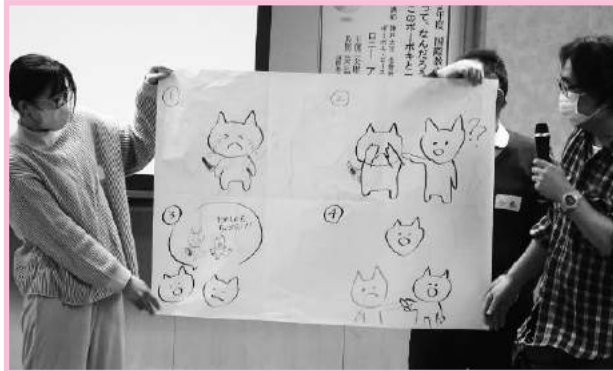
犬のおまわりさんが来て「どうしたの？迷子になったの？」

「実はね、一人で広い世界を見たくなかったの。家の庭は狭すぎるんだもん…」

いろんな動物がでてきて、「お腹がすいてるの？」とご飯を分けてくれたり、「家はどこ？一緒に探そうか」と助けてくれた

迷子になったことは解決してないけれど、もう大丈夫！

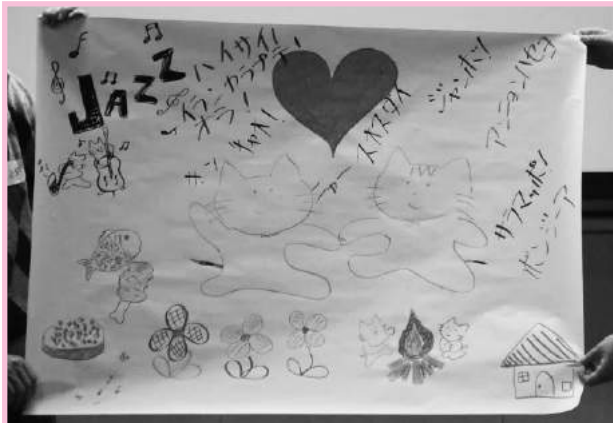
2.



泣いているポーポキ
友達が「どうしたの？」

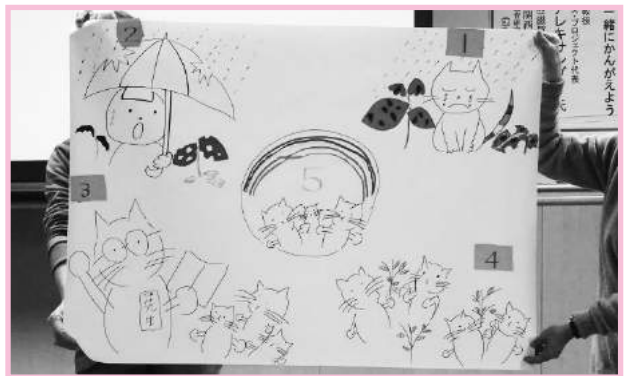
「お兄ちゃんが、お魚を持って行っちゃった」
お兄ちゃんが、お魚を一匹返しに来て分けてくれた
みんなで分けるとみんな幸せだね

3.



泣いているポーポキ
音のない世界 お腹がすいた、寒い、ひとりぼっち
いろんな国からあいさつの声が聞こえる
友達もいる、暖かい、帰る場所がある、食べ物もある
自由な音楽のジャズが鳴り響いている
ポーポキは幸せになった

4.



「あれ、おかしいな？葉っぱが黒くなっていたり、花が枯れているぞ」

「雨がおかしいのかな？」

「葉っぱや花を守るために、傘を差そう」

一日、二日経って、傘が壊れて下にどんどん落ちてくる

「どうしたらいいんだ？学校へ行って考えてみよう、先生どうしたらいいの？」

「難しいねえ。みんなで考えてみよう！」

「そうだ、二酸化炭素が空気中にあると聞いたから、山にいっぱい木を植えたらいんだ！」

「みんな今度いっしょにやろう！」 「わーい、みんな助けてくれてありがとう！」

何日か経ち、枯れていた木や花は、すくすくと伸び、雨が降った後には虹が出ていました

短い時間で、素晴らしい物語を作ってくださいありがとうございました。

ある意味、本当のワークショップはこれから始まる。なんでやさしい人がいるの、なんで魚を取るの？なんで先生に聞くと答えが出てくるの？などから話が始まるのだが、短い中で特徴が出てくる、今までの話が含まれていて、物語の中に出てきたということが見えてきて安心したと同時に、それぞれ参加者が素晴らしいと思った。

ポーポキは、別に猫でなくてもよい。何でもよいが、「人間でないことがとても大事」だと経験を通してわかってきた。人間は年齢の上下など、すごく複雑な関係性がある。だが、ポーポキは、動物と子どもを同じようなものとして見る大人がいる、ポーポキが親や友達、子ども

にもなるので、ポーポキなしでやることは難しいのではないかと思います。

さきほどのモールを使ったアクティビティをコロナ前の2019年春、台湾の大学で実践したことがある。そのとき、一番の課題として挙げたのは「核戦争」だった。普段住んでいるところ（立ち位置）によって、世界が全く異なって見えるということを教えられた。また留学生などと一緒に実践すると、結果が違ってくる。



平和教育の第一人者 ベティ リアドン先生はもう93歳ぐらいになっているが、彼女にこのバリエーションをしてもらったとき、どうしても描かせないものは「武器」だという。「武器をなくさなければ、平和にたどり着かないから」と話していた。アメリカにいと、銃が食べものより安いという地域もあり、なおさら大きな問題になっている。そういう見方や考え方があるということもみなさんに共有しておきたい。

絵を描く枚数を5枚にしているのにも実は味噌がある。紙芝居をつくるにあたって、京都マンガミュージアムのヤスさんという方に一日特訓をもらった。彼はいつも子ども向けに小さな紙芝居を5枚でつくる。彼に5枚のマジックというのを教わった。5枚が描きやすい。無言の紙芝居を描かせる。言葉を使わずに何ができるか？言葉に依存している私たちなので、コロナ禍なので今日は遠慮したが、身体を使ってコミュニケーションをすると、大切さがよくわかる。教員に最も必要なスキルかもしれない。

こうしたワークショップをおじさんに紹介すると、「まず現実性がない、五感って何？」と言われることが多い。客観的に見ないといけないのが教育の原則だと言われることがある。実際には変わりつつあると思うが、大学はまだまだ変わらないところ。小中学校も変わらないという気もする。現実性もないし、五感だけではだめと言われるが、今までのやり方で答えが出たかということ、なにも変わっていないというのが現実である。

東北で絵を描いてもらったものを、どうまとめるか、どう発信していくかを考えていく中で、ナラティブの理論を読んだりして、ストーリーワールドという概念にたどり着いた。

ストーリーワールドとは、今回皆さんが物語をつくるなかで、ポーポキが泣いているところを想像されていたと思う。食べ物を与えるという場面で、キャットフードなのか、人間の食べ物なのかかわからないけれど、頭の中では自分の慣れた自分の好きなものを与える、お家を作るなら自分の想像ができる家を作ると思う。つまり、しゃべっている人の話を自分の世界に置き換えることになる。

話を自分の世界に置き換えることだけでは、世の中は変わらない。自分の頭の中の世界が変わってはじめて平和へ一歩進んでいくと思う。それにはいろいろな交わりがあり、新しい知識が入り、新しい話を聞き、ふりかえりをして、そこで、例えば「ああ、私の食べ物の概念にタコスにはなかったけれど、新たにタコスが増えた」ということが起こる。オーディエンス（読者）が理解できるということではなく、こっちの物語がどう変わって、頭の中にどう入ってくるか。食べ物の話は簡単だが、ジェンダー平等などの話になると複雑になってくる。みなさんの教室の中で、子どもたちが自らのストーリーワールドを描いていく力を養っていただけたらと思う。

国際教育教材体験フェアin 滋賀 2022 報告

開催日：2022年8月10日（水） 13:00～16:45

会場：ピアザ淡海 会議室（大津市） 参加者：52人

主催：公益財団法人滋賀県国際協会 共催：JICA関西 協力：Glocal net Shiga

全体会

講義「ワークショップ&ファシリテーション入門

ー学びあいの場をデザインするための技法ー

講師 森 雄二郎さん Glocal net Shiga（聖泉大学 講師）

はじめに



限られたリソースの中で、学習者に学ばせたい内容に対して、どうすれば学びが促進するかが重要で、まずは場の設定を頭に入れておくことが必要である。

場を合わせる

講義形式で参加者に手元でメモを取ってもらう場合は、スクール形式が適している。周りの人と意見交換をさせたいならば、思い切って机を取っ払い椅子だけにしてみると話しやすくなる。エンタ君という製品がある。4人が膝を突き合わせて座り、円型の段ボールをみんなの膝の上に置いて机代わりにするというもの。通常、机二台を合わせて作業することが多いと思うが、少し距離間を感じることもあると思う。実際にどのくらいの距離が話しやすいかなどを試してもらえるとよいと思う。対話を促すため、話しやすい環境を整えるためには、10センチ単位で距離間にこだわることもできる。空間距離や対人距離を合わせることが大事。ファシリテーターには、場を学習者のために自分で作り上げるという意識を持っていただきたい。「場に合わせるのではなく、場を合わせる」ことが重要。

グループサイズについて

グループサイズにもこだわってもらいたい。

話し合わせる内容やねらいに対して、何人のグループにするのが適切かを考え、人数を変えていくことも大事。もちろん、グループの大小によってメリット・デメリットがある。人数が少ない方が一緒に活動する距離感は深まり共同性は高まる。ただし、心的・役割的な負担が大きくなり、たとえば見ず知らずの二人に組んでもらうと話し合いが深まりづらくなることもある。また多くなると、共同性は少なくなり、社会的な手抜きが起こってしまうのでパフォーマンスは低下する。それを防ぐために、適度な緊張感を持たせつつ、参加意識を持たせるためには、モチベーションの高い、自分たちの関心の高いテーマを扱うのであれば、大きな人数でも話し合いは可能となる。自分たちが学ばせたいこと、学習者の状態に合わせて、二人でじっくり話させたいのか、3、4人で話し合いをさせたいのか、一つずつのワークショップを展開していくのであれば、同じグループサイズではありえないので、その都度グループサイズについて意識することが大事。これは、始める前の準備を大切にしてもらいたいということ。

アイスブレイキング

関係性づくりをするために、アイスブレイク自体の目的はなにか、どのような状況を作り出したいのか、親和性を高めるためにはお互いの共通性を持たせるということは、仲良くなりやすいので効果的である。

例) 同じ星座の人を言葉を使わずに見つけようなど

その場の安心感と連帯感を演出したければ、安心・安全な場をつくるために、ニックネームなど呼ばれたい名前でやりましょうとか、自分のエピソードを伝える（自分を漢字一文字に例えるなら？好きな動物は何？など）、人に対する興味関心を沸かせたいのであれば、二人ペアでインタビューしてもらい、他己紹介してもらうなどがある。一つ、私の好きな自己紹介アクティビティ「みんなの名前」を紹介する。その場でみんなの名前を覚えるというのは難しいものだが、順に名前を伝えるだけではなく、先に自己紹介した人の名前を順番に連ねて全部言ってから自分の名前を言うというもの。これは中高生ならば、20人ぐらいでも成立する。常に頭の中で反復していくので覚えられる。自然に名前が覚えられるという手法なので、ぜひ使ってもらいたい。

準備の大切さ

安心安全な雰囲気づくり、肯定感を演出するために「拍手をする」や「お互い笑顔でいましょう」など、ワークショップをする際の約束事を作っておくことも効果的である。また自己開示の度合いを調整することも大事。いきなり自分のことを話しにくい人もいるので、誕生日や血液型、好きな食べ物などの簡単な質問から入り、だんだんと質問の自己開示の度合いを高くしていくことも大事。仲の良い人同士が集まっているのであれば、自己開示度の高いものから始めることもよいが、初対面の人と行うのであれば、低いところから始めることが大事。目的や課題の共有、ワークショップの意図をしっかりと説明することから始めることが大事。ここまでの段取りがきちりとできているかどうかで、この後のワークショップの展開が違ったものになってくる。

ふりかえりについて

ワークショップは楽しかったり、達成感が出ることも大事な収穫なのだが、どんな意図があったのかシェアリング（気づきの共有）が大

事である。そこでの学びや気づきが何であったのかを発言したり、紙に書いたり、表現する時間をしっかりと取っていただきたい。先生側の意図についても伝えてもらうことも大事だと思う。落とし込みが大事。

ファシリテーターに求められる心構え

ファシリテーターとして意識していただきたいことは、私自身も心がけているところになるが、楽しさの奥に明確な「ねらい」や「意図」があることが大事で、時間の消化ではなく、何を学んでほしいかを設定してから始めること。綿密な準備をしてイメージしていくことは大事だが、それと同時にワークショップというのは想定どおりに行かないこともあり、それが良いところでもあるので、自分が思っていたゴールと異なるところにたどり着いたときに、そうした不測の事態をどのように使うのかはファシリテーターの力量が問われるところである。自分の言いたいことややりたいことに持って行こうとすることもあるが、学習者がどんなゴールにたどり着くとしても、それは学習者の学びにつながっているので、しっかりと見守ることを意識することが大事。また、ワークショップは万能ではなく、講義形式が大事な時もあるので、うまく併用してもらいたい。

さいごに

場を整えば人は動き出す

教えるではなく学びあう場というのは、関係性を作り上げれば勝手に動き出すものである。多彩な演出と学習者を見守ることが大事。

人は学ぶ人から学ぶ

先生自身がどのように取り組んでいるかを学習者は見ている。ワークショップの間は、先生と生徒という枠組みを超えて、互いが学びあう共同体であるという意識を持ってもらうことが大事なのではないかと思う。

分科会1「世界がもし100人の村だったらーあれから20年、そして未来へ」

講師 森 雄二郎さん Glocal net Shiga (聖泉大学 講師)

1. アイスブレイキング「みんなの名前」



全体会で紹介されたアクティビティ「みんなの名前」を体験。グループで輪になり、「Aさんの隣のBです」「Aさん、Bさんの隣のCです」というように、名前を重ねながら覚えていく。最後の人が全員の名前を読み上げ、連帯感を持つことが出来るというもの。

2. 「世界がもし100人の村だったら」ワークショップ

「世界がもし100人の村だったら」という書籍をワークショップ化され、統計などの数字を基に一人一人が村人となって体験的に学ぶもの。今日は、この話が作られたころと現在との比較なども扱っていく。

手法「部屋の四隅」を使ったクイズ

4 択の設問が出される。会場の四隅にそれぞれ解答の選択肢が割り振られる。参加者は、自分の答えを会場のいずれかのコーナーに移動することで回答する。

- | | |
|----------------|---------|
| Q. 2001年世界人口は？ | A. 65億人 |
| Q. 1950年は？ | A. 25億人 |
| Q. 2020年は？ | A. 75億人 |
| Q. 2050年は？ | A. 95億人 |

人類は近代に入ってから、急激に増加（人口爆発）している現状の紹介があった。これから

も増加傾向にある。さて、これから世界はどうなっていくのだろうか？という問いかけにも使うことができる。

75億人の人々を100人に縮小して、参加者一人一人が100人村の村人となり、個々に配られた役割カードを基に活動に参加していく。カードは他の人には見せないようにする。

30～50人が適正な参加人数かと思われる。30人よりも下回ると、統計の数字が崩れるので効果が薄れるかと思う。学校であれば、2クラス合同で行うこともよくある。

様々な統計が織り交ぜられて使われているので、どれが正しい数字かという難しい部分もあるのだが、100人に見立てて世界の状況を可視化できるという点では十分に有効なアクティビティであると考ええる。

【活動概要】

① 性別で分かれてみる

この本では男女ほぼ半分となっている。問題提起としてLGBTQの要素を取り込むということも考えられる。

② 年齢別に分かれてみる

子どもは座る、65歳以上は腰をかがめるなどして、可視化することができる。

人口爆発の状況下では、子どもが3割いるのは不思議ではないが、日本の数字は少子高齢化の現状が顕著で、世界との違いに気づかせることができる。今後は途上国を中心に人口が増え、先進国では減っていく現状にある。数字だけを見せるよりも、こうした活動によって一目で理解することができる。

③ 言葉の分布

カードに書かれた挨拶の言葉を発しながら、会場内で同じ挨拶をする人を探す。

世界の6大言語の紹介や、世界の言語の半数以上が少数言語であり、英語の重要性が増すなか、少数言語が消滅する危険性もはらんでいることも紹介。

④ 人口分布

会場を世界地図に見立てて、参加者には住んでいる地域（大陸）に移動するように指示する。各地域の面積を基に作られたロープの輪に実際に入ること、人口密度を体感することもできる。

宗教や食文化（主食）によって分かれてもらうと、世界の多様性を可視化することもできるだろう。

ここからのワークは、経済的な格差などを考えるパートに入っていく。今回は、この話ができた2000年頃と現在との比較についても扱っていく。

⑤ 富の分配 [20年前]

富として、ラムネ菓子（100個）を大陸ごとに配布。まずは平和的に一人につき2～3個ずつを手にした。次に、ラムネの袋に貼られた色シールを基に、再分配を行ったところ、20年前は北米（16個/人）、ヨーロッパ（8個/人）などにラムネが集中。アジアも一見多く見えるが、その中から日本（14個/人）を差し引いたあと、残りの人たちで残数を割り戻すと、途上国並みの数にしかならなかった。



⑥ 富の分配 [現在]

現在は各国の国内格差の課題も大きくなってきているため、大陸別ではなく、個人の経済レベルで測るようになってきている。カードに書かれた経済レベルの情報に基づき、低所得者～高所得者に分かれてグループを作る。その後、ラムネのシールに書かれた番号を基に、再分配を行う。これは将来の家計レベルを示している。世界の中で、数名の高所得者のところにラムネが更に集中していくこと、世界で格差が広がっている実態を体感した。

⑦ 非識字体験

スライドに表示された単語（ロシア語「座ってください」）の意味が分からなかった人だけが立っている状態。この人たちは、非識字者。世界では、非識字者の3分の2が女性とされている。

続いて、非識字者役に対して、体調を崩した想定で、薬を3つのボトルから一つを選んでもらう。各ボトルにはネパール語で「水」「毒」「薬」とラベルに書かれている。文字が読めない人の気持ちを疑似体験するというもの。

取り上げる統計の数字は、ファシリテーターが何を伝えたいかに沿って扱うことが大切である。

3. ふりかえり

各グループで感想を共有

さいごに

ワークショップそのものが面白いから使うのではなく、これを何にどういうことにつなげていくのかという視点を忘れないようにしてもらいたい。ワークショップをすることで完了するというものではない。一連の学びの中で、どこに位置づけるのか、どのような準備が必要になるのかという気づきも楽しんでもらいたい。

分科会2「言葉がわからない体験ゲーム何が起こった？（震災編）」

講師 倉 公一さん Glocal net Shiga（滋賀大学教育学部附属中学校教員）

1. 「参加のルール」の確認

「みんなで協力しよう」、「たくさん考えてたくさん感じよう」、「お互いの話をよく聴こう」、「他の人の意見を否定しない」、「言いたくないことは言わなくてOK」、「ここで話したことはこの場かぎり」で

2. 自己紹介タイム

名前、所属、夏休み期間中に楽しみにしていること、防災について思うこと、防災に絡んで備えていることなどについて互いに紹介する。まずは会場の中からだれか相手を見つけ、じゃんけんで勝った方が自己紹介をする。3回勝ったら（3回自己紹介をしたら）席に戻る。

3. ワークショップ 「何が起こった？（震災編）」

言葉が通じない国で大地震にあったら…。というシミュレーションゲーム。自分だけの力で、理解できない外国語のアナウンスや標示を見ながら、安全な場所へ避難する、飲み水を選ぶなどの体験をした。

続いて、「バースデーライン」（言葉を使わずに誕生日順に一例に並ぶアクティビティ）を行った後、4つのグループに分かれて活動を行った。

読めない（タイ語で書かれた）標示をみて、次にどんな行動をとるかをグループで相談する。何かの配給があるようだ。①もしくは②のどの列に並ぶか、両方に並ぶのか、様子眺めするのかを決定し、実際に並ぶよう指示があった。

➤読めない標示や理解できないアナウンスに参加者は戸惑っていた。



地震も収まり、家族と帰宅できるようになったが、さてどのように感じただろうか？ふりかえりのためのワークシートに各自記入し、グループ内で共有した。

滋賀県に暮らす外国人の統計を紹介し、コロナ禍で一時的に減少したが、今後はますます増加していく傾向にあるだろうと解説があった。

4. 考えてみよう！「日本語がわからないクラスメイトに、地震が起こったときに安全に安心して避難したり避難所で過ごしたりするためにどうしたらよいか？」

①思いつくことをできるだけ多く付箋に書き出す。

付箋一枚につきアイデアを一つずつ書き出す。

②グループ全体で、模造紙を使い、出てきたアイデアをカテゴリーに分けて、テーマを添えながらまとめていく。

③グループ発表

【グループから出たアイデア（一部）】

- ・言葉と一緒にイラストなども活用する。
- ・翻訳機（アプリ）の活用、やさしい日本語などを使って情報を伝える。
- ・日頃からどのように避難したらよいか、一緒に逃げるなど、避難・防災訓練などを行う。

- ・ピクトグラムの活用、多言語の活用。
- ・表情、ジェスチャーを使って安心感を与える。
- ・宗教上の問題やアレルギーへの対応。
- ・どこで、誰から情報が得られるのかを貼ります。



さいごに

言葉がわからない状況に自分が置かれることはなかなか想像がつきにくいなかで、そうした方たちの気持ちを理解するためにどうしたらよいかを考えるために、今回こうした教材を活用いただくことが一つの方法として紹介した。子どもたちや地域の人たちが、言葉が通じ合えないところを補い合えるための仕組みを検討する方法かと思う。

多文化共生に向けて、「あってはならないちがいの解消」「なくてはならないちがいの保障」「ちがいを超えた協働の実現」が大事。こうしたことを考えるきっかけとしてもらいたい。

分科会3「服・ファッションから考えよう～持続可能な未来にするために～」

講師 Glocal net Shiga Youth

川辺 純子さん Glocal net Shiga（立命館守山中学高等学校教員）

「参加のルール」の確認のあと、この分科会では、認定NPO法人開発教育協会発行の教材「服・ファッション 開発教育アクティビティ集5」の一部を体験いただくと説明。

1. 4つのコーナー（部屋の四隅）

「4つのコーナー」とは、部屋の四隅に回答の選択肢（例「はい」「どちらかといえば、はい」「どちらかといえば、いいえ」「いいえ」など）を割りつけ、参加者が自分の回答の場所へ移動するという手法。これの良い点は、参加者がどのような意見を持っているかが一目でわかる点。アイスブレイキングを通して初めて会った参加者同士が話すきっかけとなる点。周りの人たちがどのような意見を持っているかが分かったうえで、次の活動に移りやすくなる点である。

[設問]

- ①自分が持っている服の数を把握しているか？
- ②新しい服を買う頻度は？



2. グループワーク ランキングを作ろう

「服を買うときに重視していることは？」

カードに書かれた【①流行 ②値段 ③メーカー・ブランド +④その他（自分たちが考えた条件）】から、重要度の高い順について話し合い、ランキングを行う。

[グループ発表]

- 価格が大事。次にデザインや着心地など。流行はさほど追わないが、自分に似合うかどうかポイントか。
- 生産国が重要。グループの中に服飾関係で仕事をしていた方がおられ、ご自身は服を買うときにラベルからどこの国で作られたものかを確認し、現地の工場のことを思い浮かべておられるという話を聞いたから。



3. 服の一生・どこからどこへ

① 服の一生カードの並べ替え

服が私たちの手元に届く工程に絡んで、配布された「服の一生」カード10枚を順番に並べ替える。

グローバル化していること、サプライチェーンが分業化され複雑化していること、製造・販売・メーカーの国がそれぞれ違うことなどの現状が理解できる。



ここにはないが、「着られなくなった・着なくなった後の服はどうなるのか？」についても考えてもらいたい。

② 服の一生にまつわる「環境」・「人権・社会」カードを並べよう

3グループには「環境」に絡むカード、残りの3グループには「人権・社会」に絡むカードを配布。



それぞれカードに書かれた課題カードを、先ほど並び替えた服の一生のどの工程に絡んでいるかを考え、配置する。

[グループ発表]

- 【環境カード】洗濯時に出るマイクロプラスチックの問題、輸送時のエネルギー、CO2の排出などは生産から処分まで一貫して共通するかと思った。原料生産等の場面にいくつもの問題が絡んでいるなど、複雑に絡んでいると感じた。裁断した後の端切れはどうなっているのだろうか？みんな安い服がほしいが、人件費は？売れ残りはどうなっているのか？など、更に疑問が出てきた。
- 【人権カード】人権に絡んだ労働環境の課題は初期の工程に絡んでいる。課題は単独であるのではなく、いろいろな工程に複雑に絡んでいることがわかった。

4. 映画「ザ・トゥルー・コスト ～ファストファッション真の代償～ (予告編)」の紹介

動画上映の後、数枚の写真を見せながら、補足説明があった。ファッションはとても華やかではあるが、様々な課題も抱えているということにも触れた。

5. 体験談

服飾業に従事していた方からの話

婦人服を扱っていたタイの工場（染色、縫製など）で7年ほど働いていた。人権問題に絡んだ話として、当時のタイの現状は、低賃金であった。価格競争が激化し、人件費が安い海外への工場移転が進み、グローバル化が進展していった。世界中のさまざまなブランドの服を同じ工場で作っていた。

日本企業は比較的、人権的なところに配慮していた。児童労働や化学薬品による問題については、私が関与した工場では皆無だったが、現地の工場では、周辺の池や田んぼなどに染料などの化学薬品が流れ込み、問題を起こしていたことがあった。映画のようにステレオタイプでひとくくりにすることは難しく、同じ国、地方によっても異なり、経営者の考えによるところも大きいので、個々に突き詰めていかないと解決していくのは難しいと考える。

カナダ留学経験 高校生からの話



カナダの古着について話したい。日本でも古着ファッションの流行があるが、カナダの若者たちにも古着が人気。日本とカナダの古着屋の違いは、日本の古着屋は、同じメーカーの服や種類がたくさん揃えられているが、カナダでは各家庭からの不用品が売られているので一点限りのものが多く、掘り出し物が見つけれ、コーディネートする楽しみができたこと。

6. ランキング

「何を基準に服を選びますか？」

今回のワークショップの前半で一度話し合ったテーマについて、改めてランキングを考える。1回目と変わった点はあるか、なぜ変わったのかについて話し合う。

【グループ発表】

- 子供服は買い替えるタイミングが短い、大人は長く着られるように素材にこだわるとよいと思った。企業のこだわりや理念を提示してもらえるとメーカーやブランドがランキングの上位に挙がってくるかも。
- 価格を上位にしていたが、軽い気持ちで安いものを買うのではなく、長く使えるものを選ぶことが大事。
- 流行はどうでもよい。デザインは機能性があるので大事だが、流行と一緒にカードになっているのは違うのではないかと素材がエコなもの、生産者へのリスペクト（人件費が高くなることにも納得できるか）、環境への配慮、着た後の処分についても考えることが大事。
- 長く着られるもの、高くて良いもの、使い捨てしなくてよいものを選ぶ。単なる「価格」から、2回目は「適正な価格」と書き換えた。ファストファッションの見直し。企業の情報（実態）を消費者も知る努力が必要。
- 企業体質・理念をみて、消費者が価値を買うという意識を持つことが必要。
- 必要かどうか、自分に似合っているかは大事という上で、手入れのしやすさや着心地を重視して大切に着ることが大事。

昨年度の国際教育ワークショップ報告書3ページ目に、いろんな努力をしている企業の取組が紹介されているので、資料として紹介しておく。

参照 <https://www.s-i-a.or.jp/references/761>

アドバイザー 川辺純子さんより

今日までの歩みを紹介しておくと、昨年2月のワークショップに参加したのがスタート。その後、オンライン会議2回、デモンストレーション1回、当日打合せ1回で、今日の本番を迎えた。

ファッションは、どんな世代でも話し合いができるテーマであるので、今日参加されている学校現場の方には、ぜひ子どもたちと一緒に授業を作り上げることに取り組むこともおすすめしたい。

分科会4「今を知り、共に考えよう ―多文化共生×SDGs―」

講師 児島 正子さん（吹田市立豊津西中学校教員 JICA教師国内研修参加）

私は美術科教員で、総合学習や人権学習を担当し、今回は総合学習で行ったものを紹介する。昨年、JICA関西主催の教師国内研修で学んだことをきっかけに授業を計画したもので、総合的な学習の時間で授業時数6時間、1年生4クラス140人を対象に「SDGs×西中 誰ひとり取り残されない」と題して実践した。4人の教員で同内容を同時間に行った。

第1～4時までは実情を知るとして、「中村哲さんの生き方から学ぶ」「SDGsって何？ フォトランゲージ」「気候危機」「多文化共生」について映像や写真、読みものを用いて様々な視点から考えられるように授業を行った。その後、まとめとして自分事として考えられるように演劇の活動を行ったので、今日は皆さんにも体験してもらいたい。

授業では、中村哲さんの活動については映像や新聞記事などを使用した。次のSDGsについては「地球の食卓」より5枚の写真（アメリカ、マリ、日本、ドイツ、エクアドル）を活用したフォトランゲージを取り入れ、「豊かさ・幸せ・健康・ゴミがたくさん出そう・持続可能な暮らし」という視点で、ランキングに取り組ませた。

1. 自己紹介・フォトランゲージ・ランキング

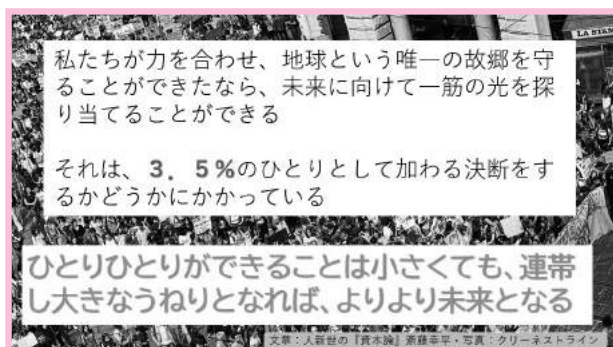
名前、所属、趣味について自己紹介をした後、グループで上記の写真の中から「豊かさ」「持続可能な暮らし」の視点からランキングを考えた。

【中学生からの意見の紹介】

- 「豊かさ」として、アメリカや日本はモノがたくさんあって豊か。
- 「持続可能な暮らし」としては、ドイツやエクアドルはゴミがあまり出ないようなので、持続可能で豊かなのではないかな。

テーマによって、ランキングが変わるのだということに気づいてくれたようだった。

環境についての学習では「気候危機」を取り上げ、グレタ トゥーンベリさんの言葉「No one is too small to make difference（変化を起こすのに小さすぎることはない）」や活動を紹介した。生徒たちは、自分たちと同じ年代の若者たちがこうした声を上げていることに驚き、自分たちにも何かできる力があるではないかということを経験した。



2. 映画「FLEE」予告編の紹介

授業では取り上げていないが、先月観た映画を紹介したい。1970年末にアフガニスタンで生まれ、現在はロシアを経てデンマークに亡命し暮らしている人のドキュメンタリーアニメーションである。難民として苦難の連続で、また本人がゲイであるために更に過酷な状況にあることが紹介されている。現在世界には、1億人の難民がいる。

3. 多文化共生を考えるインドシナ難民を題材に

使用教材

「開発教育 基本アクティビティ集2 難民」
(認定NPO法人開発教育協会発行)

① 難民のストーリーの読み上げ

日本にカンボジアから難民として来た啓太（チュムナ）さんの生き方を文章から考える。チュムナさんにまつわる話を読み上げるので、難しい用語、大切だと思うところにラインを引くなどして読み進めてもらいたい。

実際の授業では、「第三国定住者希望」といった用語について生徒から質問が上がった

ので、後日自分でも調べて説明をした。

- ② 啓太（チュムナ）さんがインドシナ難民として自分のルーツを言えず、つらい思いをしてきたのはどうしてでしょう？



【参加者からの意見】

➤ 難民という言葉に、日本社会がマイナスのイメージを持っているからではないか。

- ③ 「誰にでも平等に接してほしい」啓太（チュムナ）さんから見えてくる日本の姿を想像してみよう

【参加者からの意見】

- 閉鎖的で不寛容、知らないことへの抵抗感が大きく、仲間外れがあったり、排他的な考えから差別が起こっているのではないか。
- 「外国人だから」というだけで、特別な存在として扱われる。「違う人」という感覚。

チュムナさんの言葉として、「自分の子どもには、いろいろな友だちをつくったほうがよい、その方が絶対楽しいよ」と言い聞かせている。日本という国でもさまざまな事情でいろいろな国から来た人がいて、それが当たり前、という環境をつくっていくことが大切だ」と多文化共生にむけたメッセージが綴られている。

④ 映画「東京クルド」予告編の紹介

昨日、日本で初めてトルコ国籍のクルド人の方が難民認定されたというニュースが流れた。もう一つ、映画を紹介する。トルコから難民として来た20代のオザンさんとラマザンさんのドキュメンタリー。生徒たちにも見せた際、映画の中で「不法滞在」という言葉が度々出てくるが、「不法滞在者は犯罪者、何か悪い人」という印象を持つ生徒がいた。しかし、故郷で迫害を逃れて日本に来た人も「不法滞在者」と呼ばれることを知り、様々な事情を抱えていることを話した。

入管に収容されていたスリランカ人のウィシュマ サンダマリさんが亡くなった事件があったが、収容施設内で差別的な扱いを受け

ている現状がある。ウクライナ避難民も日本で暮らしている。

⑤ 日本に暮らす外国人はどれくらい？

300万人。日本に暮らす人の約40人に1人が外国人。思ったよりも多いと感じるかと思う。在留資格について学び、とりわけ技能実習生を取り上げた。

コンビニのサンドイッチやおにぎりはだれが作っているのか？「コープネットの旬鮮フレッシュ便・朝穫りレタス編」の映像を紹介。長野県の人口4千人の川上村。レタスの収穫期には技能実習生等の外国人労働者が千人来ている。映像にはアジア系の人たちが映っているのがわかる。生徒たちには、私たちの生活はよい意味では外国人に支えられている。別の視点では、外国人の生き方を犠牲にしている部分があることを紹介した。

⑥ 技能実習生についての理解 ○×クイズ

Q ベトナム出身のAさんは、技能実習生として酪農の仕事をしています。長時間労働が続いたため、体調を崩してしまいました。Aさんは、転職できると思いますか？

→ こたえ ×

Q フィリピン出身のBさんは、技能実習生として水中ポンプをつくる工場で働いています。フィリピンに住む配偶者は一緒に日本に来ることはできませんでした。

→ こたえ ○

生徒たちからは、解答を聞いて「ええー」という声が上がっていた。新聞記事では、技能実習生からの「日本人にとって働く機械」「親切にされたことがない」「困難できつい仕事しかない」という声が紹介されていることを紹介。

⑦ 参考資料「斎藤幸平の分岐点ニッポン」より

生徒たちは、夢を持ち、良いイメージを持って、日本に来た外国人たちが、自分たちの知らないところでひどい扱いを受けている現実にはショックを受けていた。ただ、それだけでなく、日本の労働組合が雇止めにした外国人労働者を助けた事例や、辛い思いをしても「それでも日本が好き」と最後まで言ってくれたベトナム人女性の言葉を読み、私たちの社会通念を身近なところから変えていかなく

てはならないことを押さえた。

実際に授業では、言葉がわからない状況についてシミュレーションを体験し、不安な気持ちに共感することにつなげた。

【この「多文化共生」の学習に対する生徒たちの感想】

- 外国人が差別を受けていることを初めて知った。差別をしない国になりたい。
- 日本は外国人の扱いがひどいと感じた。技能実習生は言語が違う日本で頑張ってくれているのに、こんな待遇を受けているのは変えなくてはならない。

生徒たちには、「大事にされなくてはならないのは、外国人だけではなく、あなたたち一人ひとりも大事にされなくてはならないんだよ」とメッセージを伝えたとのこと。

4. 演劇ワーク

配布された資料に掲載されている4つのストーリーからグループでどれを選んで演劇にするかを話し合う。資料には、おおよその設定、配役、導入の部分のセリフが書かれている。最終的に目指すゴールを決めて、ストーリー展開を考え、演劇で発表する。

① 配役、セリフを自由に考えていく。

《ストーリー例》

場面設定 朝早いレタス畑

体調が悪い技能実習生がいるが、残り作業をどうするのか？

場面設定 カンボジアからの難民Aの自宅

自分のルーツを隠す子どもAと、なぜ隠すかわからない友だちとの会話

② 演劇発表会

【発表例】

『朝早いレタス畑での技能実習生の話』

技実 「あいたたたた…昨日から痛くて…」

従業員1 「どうしたの？」

技実 「働きづめで、食べ物も足りてなくて…一日休みをもらえたら治ると思うけど…困っています。」

従業員2 「おいおい困るよ、そんなじゃあ。人手が足りないんだから」

従業員3 「でもしょうがないじゃない。病気になるんだから。」

従業員1 「は？じゃあお前があいつの代わりに収穫するか？」

従業員3 「それはちょっと…一人ではしんどいかな」

従業員1 「みんなで作業を分担して、今日は頑張ろう」

従業員3 「僕がしんどい時は、代わりにやってくれたらいいから」

技実 「ありがとうございます。ちょっとうしろめたいな。でも、日本人と同じ待遇になるといいんだけどなあ…。今日はすみません。」

目指すゴール：

「同じ仕事内容なので、日本人と実習生を区別することなく平等に扱われること」



さいごに

短時間ではあったが、演劇発表を実際にやってみてわかることがあったのではないかなと思う。

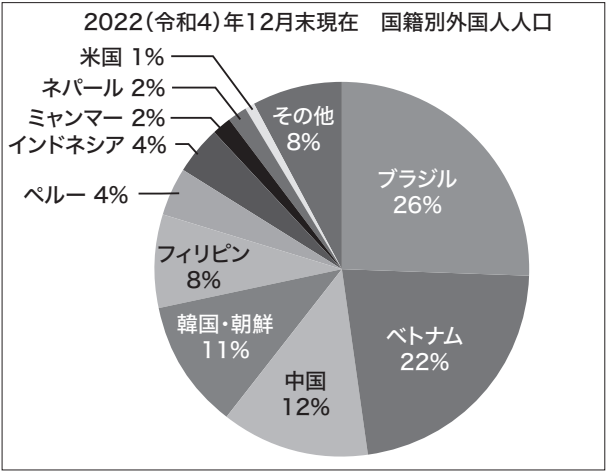
生徒たちが考えた発表には、日本人と外国人の賃金格差を是正するものや、南アフリカの子どもたちが教育の機会を得られるよう改善に取り組むものなどの事例紹介があった。

演劇表現の活用を振り返って、自分自身の視野が広がり、自分事として捉えやすくなる点がプラスだと感じた。総合学習での学びについての発表方法として、演劇を取り入れてもらうことは有効だと感じている。教員4人で同じ活動を行っていくためにSDGsをアプローチとして取り入れることで幅が広がり、ともに取り組みやすかった。今後も、今を知り、子どもたちに伝える、そして、ともに考える機会が持てればと考えている。

資料集

- ◇ 滋賀県における国籍別外国人人口
- ◇ 国際教育研究会 Glocal net Shiga 活動報告
- ◇ 国際教育・開発教育貸出教材の紹介

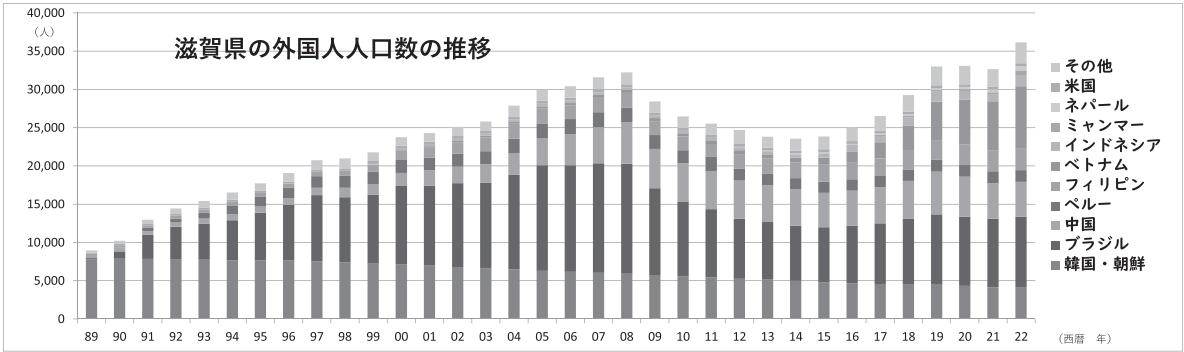
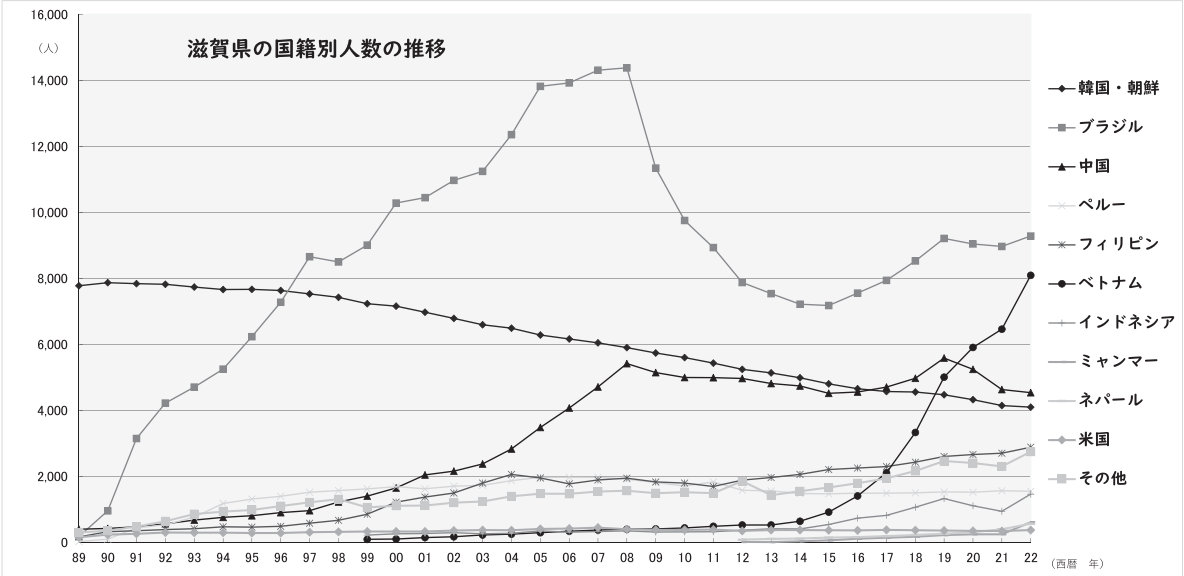
滋賀県における国籍別外国人人口



公益財団法人滋賀県国際協会 作成

国 籍	人口数	前年度比
ブラジル	9,281 人	315
ベトナム	8,088 人	1,633
中国	4,533 人	△ 92
韓国・朝鮮	4,094 人	△ 47
フィリピン	2,879 人	181
ペルー	1,545 人	△ 14
インドネシア	1,458 人	523
ミャンマー	607 人	366
ネパール	561 人	167
米国	370 人	33
その他	2,742 人	442
合 計	36,158 人	3,507

*国籍数等：108ヶ国・地域



外国人人口の比率が2%以上の市町 (2022年12月末現在)

市町名	外国人人口 (人)	総人口 (人)	外国人比率 (%)	備考 (上位4国籍)
1 湖南市	3,508	54,601	6.43%	ブラジル 1,504人, ベトナム 731人, ペルー 348人, 韓国・朝鮮 267人
2 愛荘町	1,062	21,333	4.98%	ブラジル 585人, ベトナム 155人, フィリピン 140人, ペルー・中国 52人
3 甲賀市	4,142	89,046	4.65%	ブラジル 1,666人, ベトナム 866人, ペルー 378人, フィリピン 338人
4 東近江市	4,424	112,586	3.93%	ブラジル 1,680人, ベトナム 1,166人, フィリピン 459人, 中国 235人
5 日野町	817	20,971	3.90%	ブラジル 328人, ベトナム 252人, フィリピン 44人, 中国 42人
6 長浜市	3,909	115,009	3.40%	ブラジル 1,638人, ベトナム 731人, 中国 408人, フィリピン 324人
7 豊郷町	233	7,207	3.23%	ブラジル 111人, ベトナム 46人, フィリピン 28人, 中国 24人
8 彦根市	3,146	111,648	2.82%	ベトナム 961人, ブラジル 545人, 中国 490人, フィリピン 408人
9 草津市	3,289	138,336	2.38%	中国 974人, ベトナム 791人, 韓国・朝鮮 491人, フィリピン 183人
10 近江八幡市	1,805	82,007	2.20%	ベトナム 642人, ブラジル 367人, 中国 165人, 韓国・朝鮮 156人
11 栗東市	1,471	70,569	2.08%	ベトナム 395人, ブラジル 258人, 韓国・朝鮮 187人, 中国 163人
県全体	36,158	1,413,935	2.56%	ブラジル 9,281人, ベトナム 8,088人, 中国 4,533人, 韓国・朝鮮 4,094人

※滋賀県総合企画部国際課の調査に基づく。
※2011年(平成23年)12月末までは外国人登録者数、2012年(平成24年)12月末以降は住民基本台帳人口による。
※2013年(平成25年)12月末の統計より「中国・台湾」で統計をまとめていましたが、2019年(令和元年)12月末統計より「中国」「台湾」で統計をまとめています。
※県民39人(39.10人)に1人が外国人。

「国際教育研究会 ^{くろーがる ネット し が} Glocal net Shiga」について

私たち、「国際教育研究会 **Glocal net Shiga** (^{くろーがる ネット し が})」は平成15年(2003年)4月に立ち上がったグループです。名前にある“**Glocal**”とは**Global + Local**を結びつけた造語です。“**Think Globally, Act Locally**”(地球規模で考え、地域から行動する)という開発教育/地球市民教育/グローバル教育の地域社会に対する考え方を表すことばがあり、地球と地域を結ぶことばとして生まれました。

このような考え方をうけ、地元滋賀(**Shiga**)で地域に根ざした人たちをつなぎ(**Network**)、みんなで一緒に地球市民を育む活動に取り組んでいきたいという思いが込められています。

会のねらいについて

- 地球上には、自国文化を含め、さまざまな生活・文化等があることを知り、多様性を受け入れること **多様性の尊重**
 - 地域には、さまざまな文化背景や価値観等をもつ人びとがともに暮らしていることを認識し、多文化共生の意識を育むこと **多文化共生社会づくり**
 - 世界と自分はつながっていること、自分たちの生活と地球のどこかで起こっている問題が密接につながっていることを理解すること **相互依存関係の理解**
 - 地球的課題を解決するために行動すること **公正・平和な社会づくり**
- など

こうしたことをねらいとして、さまざまな実践方法(おもに参加型学習法)を学びながら、国際教育を促進することを目的としています。教育関係者・国際協力NGO関係者・外国籍住民・地域国際協会関係者、学生、青年海外協力隊OVなど、さまざまな立場や経歴の持ち主が参加しています。

これまでに滋賀県の特徴を生かした題材をとらえ、「**ブラジルボックス**」・「**“わたしん家の食事から”**」・「**非識字体験ゲーム『ここは、何色?』『はじめてのお見舞い』『言葉がわからない』体験ゲーム 何が起こった?(震災編)**」などの教材を開発してきました。また、より多くの方に国際教育を体験していただくよう年数回、国際教育ワークショップを開催しております。

今後も幅広い知識や情報の交換を行い、より深みのある内容を取り上げていきたいと考えています。

入会について

毎月1回日曜日に例会を開催しています。さまざまな経歴のメンバーが集まるクラブ活動のような会です。渡航経験や語学力については、まったく心配していただく必要はありませんので、この研究会にご関心のある方は、お気軽に下記までお問い合わせください。

国際教育・開発教育についての企画相談、講師派遣も随時承ります。

<お問合せ先>

公益財団法人滋賀県国際協会 担当 大森

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2階

電話:077-526-0931 ファックス:077-510-0601

E-mail: omori@s-i-a.or.jp

2022年度（令和4年度）の主な活動について

開催日	内 容
4/17 会場・ オンライン 並行開催	国際教育教材体験フェア（兼）滋賀県総合教育センター自己啓発研修「国際理解」分科会・講師について、滋賀県国際協会 次世代人材育成プログラムの内容について、講師派遣について話し合い
5/22 会場・ オンライン 並行開催	次世代人材育成事業「SDGs×多文化共生×開発教育」連続セミナーの内容・ファシリテーターについて、今年度国際教育教材体験フェア 分科会・講師について話し合い
6/12	次世代人材育成事業 連続セミナー フィールドワーク先下見 [モスク アン ヌール能登川訪問]
7/9 会場・ オンライン 並行開催	モスク下見の報告、次世代人材育成事業 連続セミナー（進め方、最終課題についてなど）について話し合い、国際教育教材体験フェア 分科会のデモンストレーション体験
8/10	国際教育教材体験フェアの運営・参加
9/10 会場・ オンライン 並行開催	国際教育教材体験フェアふりかえり、次世代人材育成事業 連続セミナー第1回～第3回報 次年度（2023年度）次世代人材育成事業助成申請について、今年度国際教育ワークショップの テーマ・講師候補について話し合い
10/23 会場・ オンライン 並行開催	次世代人材育成事業 連続セミナー実施状況報告 および 次年度（2023年度）助成申請について 今年度国際教育ワークショップのテーマと講師候補について話し合い 元JICA滋賀デスク 山本さんによるルワンダ最新情報の解説
12/17 会場・ オンライン 並行開催	次世代人材育成事業 連続セミナー 受講生によるアクションプラン発表会への参加
1/7	国際教育ワークショップ in 滋賀 2022 「平和って、なんだろう？ねこのポーポキと一緒にかんがえよう」への参加
1/14 オンライン	認定NPO法人開発教育協会 新作教材『18歳成人とキャリア教育』（仮）試作体験会への参加
2/26	次年度国際教育教材体験フェアについて、次世代人材育成事業 今年度報告および次年度について Glocal net Shiga設立20周年について話し合い 異文化理解アクティビティ「アルバトロス」体験
3/12	次年度国際教育教材体験フェア 分科会について、次世代人材育成事業 連続セミナー プログラム案 について、Glocal net Shiga設立20周年企画について話し合い、異文化理解アクティビティ体験

【活動の様子】



モスク下見



デモンストレーション風景

国際教育・開発教育教材の紹介および貸し出し規定について

(公財) 滋賀県国際協会

当協会では、国際教育および開発教育に関する資料・教材（ビデオ等も含む）を708点（2022年度末現在）所蔵しており、自由に閲覧・視聴することができますので、お気軽にご利用ください。

なお、当協会ホームページからも教材目録、貸出申請書様式が入手できます。

<https://www.s-i-a.or.jp/inquiries/lending>

<利用について>

- 閲覧・視聴 どなたでもご自由にご利用いただけます。
ただし、事務所に保管しておりますので、閲覧を希望される場合は、職員にその旨お伝えください。
- 利用時間 月曜日から金曜日まで（土日祝日を除く） 午前9時から午後5時まで
- 貸 出 原則として、会員および団体（学校を含む）に限ります。
所定の貸出申込書にご記入の上、当協会窓口にご提出ください。
貸出期間：2週間以内（申請により期間延長可能）
貸出冊数：1回5点以内
- 返 却 当協会窓口まで直接ご返却ください。やむを得ないと認められる場合は、借受側の料金負担のもとに郵送・託送を認めます。
なお、破損、紛失の場合は実費をご負担いただきます。



貸出教材の一部

<お問合せ先>

公益財団法人 滋賀県国際協会

〒520-0801 大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2階

電話 077-526-0931 ファックス 077-510-0601

HP <https://www.s-i-a.or.jp> E-mail info@s-i-a.or.jp

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
1	0-0 概論 1	NGO スタッフのための国内事業ハンドブック	開発教育協会	ブックレット
2	0-0 概論 2	参加型 ワークショップ入門	明石書店	書籍
3	0-0 概論 3	テキスト国際理解	国土社	書籍
4	0-0 概論 4	国際理解教育 地球市民を育てる授業と構想	国土社	書籍
5	0-0 概論 5	国際理解 重要用語 300 の基礎知識	明治図書	書籍
6	0-0 概論 6	南北問題と開発教育 地球市民として生きるために	亜紀書房	書籍
7	0-0 概論 7	開発教育 2006 Vol.53 特集 開発教育と教材 / スポーツと開発教育	明石書店	書籍
8	0-0 概論 8	地球市民教育のすすめかた	明石書店	書籍
9	0-0 概論 9	はてな? なぜかしら? 国際問題 全3巻	教育画劇	書籍
10	0-0 概論 10	開発教育 2003 No.47 特集 開発教育のこれまでとこれから	開発教育協会	ブックレット
11	0-0 概論 11	開発教育 2004 No.49 特集 平和を築く学び	開発教育協会	ブックレット
12	0-0 概論 12	開発教育 2004 No.50 特集 地域から描くこれからの開発教育	開発教育協会	ブックレット
13	0-0 概論 13	開発教育 2005 No.51 特集 いのちを育む学び	開発教育協会	ブックレット
14	0-0 概論 14	開発教育 2005 No.52 特集 国際協力と開発教育	開発教育協会	ブックレット
15	0-0 概論 15	開発教育実践の手引き 開発教育ガイドブック2	国際協力推進協会	ブックレット
16	0-0 概論 16	「開発教育」ってなあに? 開発教育 Q&A 集 改訂版	開発教育協会	書籍
17	0-0 概論 17	開発教育キーワード51 開発教育ブックレットシリーズ No.5	開発教育協議会	ブックレット
18	0-0 概論 18	新しい開発教育のすすめ方	古今書院	書籍
19	0-0 概論 19	新しい開発教育のすすめ方Ⅱ	古今書院	書籍
20	0-0 概論 20	World studie 学びかた・教えかたハンドブック	国際理解教育センター	書籍
21	0-0 概論 21	地球市民を育む学習 -Global teacher, Global learner	明石書店	書籍
22	0-0 概論 22	DEAR News 100 号～	開発教育協会	ニュースレター
23	0-0 概論 23	開発教育 2007 vol. 54 特集参加型開発と参加型学習	開発教育協会	書籍
24	0-0 概論 24	いっしょに ESD ! 環境・人権・参加の新世紀教育	国際理解教育センター	ブックレット
25	0-0 概論 25	「地球時代」の教育とは	岩波書店	書籍
26	0-0 概論 26	地域から描くこれからの開発教育	新評論	書籍
27	0-0 概論 27	開発教育 2008 vol. 55 特集 開発教育と市民性	開発教育協会	書籍
28	0-0 概論 28	開発教育 2009 vol. 56 特集 開発教育の教師・指導者とファシリテーター	開発教育協会	書籍
29	0-0 概論 29	開発教育 2010 vol. 57 特集 オルタナティブな経済と開発教育	開発教育協会	書籍
30	0-0 概論 30	開発教育 2011 vol. 58 特集 オルタナティブな教育と開発教育	開発教育協会	書籍
31	0-0 概論 31	パウロ・フレイレ「被抑圧者の教育学」を読む	太郎次郎社エディタス	書籍
32	0-0 概論 32	世界で生きる力ー自分を本当にグローバル化する 4 つのステップ	英治出版	書籍
33	0-0 概論 33	シティズンシップと教育ー変容する世界と市民性	頸草書房	書籍
34	0-0 概論 34	開発教育 2012 vol.59 特集 開発教育 この 10 年 そして未来へ向けて	開発教育協会	ブックレット
35	0-0 概論 35	開発教育 2013 vol. 60 特集 学びとしてのフェアトレード	開発教育協会	ブックレット
36	0-0 概論 36	開発教育 2014 vol. 61 特集 政治を語る市民社会	開発教育協会	ブックレット
37	0-0 概論 37	地域の問題解決を促進するファシリテーターハンドブック	開発教育協会	ブックレット
38	0-0 概論 38	この社会で戦う君に「知の世界地図」をあげよう	文芸春秋	書籍
39	0-0 概論 39	グローバル時代の国際理解教育ー実践と理論をつなぐ	明石書店	書籍
40	0-0 概論 40	100 歳のジャーナリストからきみへ (人類)	汐文社	書籍
41	0-0 概論 41	100 歳のジャーナリストからきみへ (育つ)	汐文社	書籍
42	0-0 概論 42	100 歳のジャーナリストからきみへ (生きる)	汐文社	書籍
43	0-0 概論 43	100 歳のジャーナリストからきみへ (平和)	汐文社	書籍
44	0-0 概論 44	100 歳のジャーナリストからきみへ (学ぶ)	汐文社	書籍
45	0-0 概論 45	SDGs と開発教育 持続可能な開発目標のための学び	学文社	書籍
46	0-0 概論 46	開発教育 2015 vol. 62 特集 「平和」に向き合う開発教育	開発教育協会	ブックレット
47	0-0 概論 47	開発教育 2016 vol. 63 特集 女性をとりまく問題と開発教育	開発教育協会	ブックレット
48	0-0 概論 48	増補学び舎 中学歴史教科書 とともに学ぶ人間の歴史	学び舎	書籍
49	0-0 概論 49	開発教育 2017 vol. 64 特集 多文化共生社会の未来と開発教育	開発教育協会	ブックレット
50	0-0 概論 50	基本解説 そうだったのか。SDGs	(一社) SDGs 市民社会ネットワーク	書籍
51	0-0 概論 51	グローバル時代の「開発」を考えるー世界と関わり、共に生きるための 7 つのヒント	明石書店	書籍
52	0-0 概論 52	開発教育 2018 vol. 65 特集 安全・安心に暮らすということー難民・避難民・先住民族の視点から	開発教育協会	ブックレット
53	0-0 概論 53	国際理解教育 Vol. 22 特集道徳教育と国際理解教育	日本国際理解教育学会	書籍
54	0-0 概論 54	国際理解教育 Vol. 23 特集アクティブ・ラーニングと国際理解教育	日本国際理解教育学会	書籍
55	0-0 概論 55	国際理解教育 Vol. 24 特集「移動する子どもたち」と国際理解教育	日本国際理解教育学会	書籍
56	0-0 概論 56	SDGs カリキュラムの創造 :ESD から広がる持続可能な未来	学文社	書籍
57	0-0 概論 57	開発教育 2019 vol. 66 特集 教育の画一性を問う	開発教育協会	ブックレット
58	0-0 概論 58	開発教育 2020 vol. 67 特集 気候危機と私たち	開発教育協会	ブックレット
59	0-0 概論 59	開発教育 2021 vol. 68 特集 沖縄における開発教育	開発教育協会	ブックレット
60	0-0 概論 60	わくわく開発教育 開発教育ブックレットシリーズ No.2	開発教育協議会	ブックレット
61	0-0 概論 61	国際理解教育を問い直すー現代課題への 15 のアプローチ	明石書店	書籍
62	0-0 概論 62	SDGs 時代の学びづくり 地域から世界とつながる開発教育	明石書店	書籍
63	0-0 概論 63	開発教育 2022 vol. 69 特集 開発教育 この 10 年、そして次の 10 年へ向けて	開発教育協会	ブックレット
64	1-0 実践事例 2	いきいき開発教育 総合学習に向けてたカリキュラムと教材	開発教育協議会	ブックレット
65	1-0 実践事例 3	つながれ開発教育 学校と地域のパートナーシップ事例集	開発教育協議会	ブックレット
66	1-0 実践事例 4	チャレンジ総合的学習 1 中学校「国際理解」ファックス教材集	明治図書	書籍
67	1-0 実践事例 5	「いのち」を考える授業プラン 48	小学館	書籍
68	1-0 実践事例 6	人間関係を豊かにする授業実践プラン 50	小学館	書籍
69	1-0 実践事例 7	みんなとの人間関係を豊かにする教材 55	小学館	書籍
70	1-0 実践事例 8	いっしょに学ぼう Learning Together	国際理解教育センター	ブックレット
71	1-0 実践事例 9	TOOL8 8 つの参加型<基本ツール>を使いこなす	国際理解教育センター	ブックレット
72	1-0 実践事例 10	STEP5 参加型ですずめる 5 つのステップ	国際理解教育センター	ブックレット
73	1-0 実践事例 11	参加型で伝える 12 のものの見方・考え方	国際理解教育センター	ブックレット
74	1-0 実践事例 12	対立は悪くない ～学校・地域の問題解決に活かす～	国際理解教育センター	ブックレット
75	1-0 実践事例 13	Let's Cooperate 穏やかにもめごとを解決するための学びかた・教えかたハンドブック	国際理解教育センター	ブックレット
76	1-0 実践事例 14	ハンドブック 楽しく学び合うワークショップ	国際理解教育情報センター	ブックレット
77	1-0 実践事例 15	みんなでつなごう! 教室と世界「総合的な学習の時間(国際理解)」に役立つ学習プラン	(財) 福島県国際交流協会	ブックレット
78	1-0 実践事例 16	国際理解教育ハンドブック 地域に暮らす外国人と一緒に学ぼう!	名古屋国際センター	ブックレット

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
79	1-0 実践事例 17	参加型学習で世界を感じる 開発教育実践ハンドブック	開発教育協会	ブックレット
80	1-0 実践事例 18	開発教育・国際理解教育ハンドブック 小中学校教育員用副読本	国際協力推進協会	ブックレット
81	1-0 実践事例 19	教室から地球へ 開発教育・国際理解教育 虎の巻	JICA 中部国際センター	ブックレット
82	1-0 実践事例 20	対立から学ぼう 中等教育におけるカリキュラムと教え方	国際理解教育センター	ブックレット
83	1-0 実践事例 21	ERIC レッスンバンク	国際理解教育センター	ペーパー
84	1-0 実践事例 22	レッスンバンク 『ワールドスタディーズ』 追加・発展教材集	国際理解教育センター	
85	1-0 実践事例 23	レッスンバンク 『人権教育ファシリテーターハンドブック』 追加・発展教材集	国際理解教育センター	
86	1-0 実践事例 24	活動（アクティビティ）で進める国際理解教育教材 全 12 セット 2005 年改訂版	地球の友と歩む会 /LIFE	ワークキット
87	1-0 実践事例 25	グローバル・クラスルーム	明石書店	書籍
88	1-0 実践事例 26	身近なことから世界と私を考える授業	明石書店	書籍
89	1-0 実践事例 27	市民学習実践ハンドブック	開発教育協会	書籍
90	1-0 実践事例 28	国際交流・国際協力に基づく ESD 教材・カリキュラム	松山 ESD 促進実行委員会	書籍
91	1-0 実践事例 29	食からみえる「現代」の授業	太郎次郎エディタス	書籍
92	1-0 実践事例 30	はじまりをたどる「歴史」の授業	太郎次郎エディタス	書籍
93	1-0 実践事例 31	若者のための ESD 「私」から広がる世界	ESDR	書籍
94	1-0 実践事例 32	身近なことから世界と私を考える授業Ⅱ オキナワ・多みんぞくニホン・核と温暖化	明石書店	書籍
95	1-0 実践事例 33	世界と私と未来をつなぐ授業づくりガイド 開発教育・ESD を教室へ	開発教育協会	書籍
96	1-0 実践事例 34	開発教育実践ハンドブック 参加型学習で世界を感じる [改訂版]	開発教育協会	書籍
97	1-0 実践事例 35	社会参画の授業づくり・持続可能な社会に向けて	古今書院	書籍
98	1-0 実践事例 36	ファシリテーショングラフィック入門	明治図書出版	書籍
99	1-0 実践事例 37	グループディスカッションで学ぶ社会学トレーニング	三省堂	書籍
100	1-0 実践事例 38	「共に生きる」をデザインする グローバル教育教材と活用ハンドブック	メディア総合研究所	書籍
101	1-0 実践事例 39	ESD・開発教育 実践者のための ふりかえり・自己評価ハンドブック	開発教育協会	ブックレット
102	1-0 実践事例 40	マンガジアへアジアのマンガから世界を見よう～	名古屋国際センター・国際交流基金	ブックレット
103	1-0 実践事例 41	先生と NGO が手をつないだ！ 地域でつくる国際理解教育	福島県国際交流協会	ブックレット
104	1-0 実践事例 42	世界の国を知る 世界の国から学ぶ わたしたちの地球と未来 活用マニュアル	愛知県国際交流協会	ブックレット
105	1-0 実践事例 43	世界はもたどち 2	岩手県国際交流協会	ブックレット
106	1-0 実践事例 44	たった一つを変えるだけ：クラスも教師も自立する「質問づくり」	新評論	書籍
107	1-0 実践事例 45	生徒の生き方が変わる グローバル教育の実践	メディア総合研究所	書籍
108	1-0 実践事例 46	「主体的学び」につなげる評価と学習方法—カナダで実践される ICE モデル（主体的学びシリーズ—主体的学び研究所）	東信堂	書籍
109	1-0 実践事例 47	教育ファシリテーターになろう！ グローバルな学びをめざす参加型授業	弘文堂	書籍
110	1-0 実践事例 48	社会科 アクティブ・ラーニングへの挑戦 社会参画をめざす参加型学習	明石書店	書籍
111	1-0 実践事例 49	学び合う場のつくり方——本当の学びへのファシリテーション	岩波書店	書籍
112	1-0 実践事例 50	リラックスと集中を一瞬でつくる アイスブレイク ベスト 50	ぼんの森出版	書籍
113	1-0 実践事例 51	開発教育基本アクティビティ集 1—世界とのつながり	開発教育協会	書籍
114	1-0 実践事例 52	Social Action Handbook（ソーシャル・アクション ハンドブック）テーマと出会い・仲間をつくり・アクションの方法を見つける 39 のアイデア	開発教育協会	書籍
115	1-0 実践事例 53	豊かさで開発	開発教育協会	冊子
116	1-0 実践事例 54	アクティブラーニングに使える！ファシリテーターのための参加型アクティビティ集『コミュニケーション編』	NIED・国際理解教育センター	書籍
117	1-0 実践事例 55	多文化社会で多様性を考えるワークブック	研究社	書籍
118	1-0 実践事例 56	生きる力を育むグローバル教育の実践—生徒の心に響く主体的・対話的で深い学び	明石書店	書籍
119	1-0 実践事例 57	多文化共生のためのシティズンシップ教育実践ハンドブック	明石書店	書籍
120	1-0 実践事例 58	身近なことから世界と私を考える授業Ⅲ 「自分ごと」として学ぶ 17 ゴール	明石書店	書籍
121	1-1 実践事例 1	アクティビティ事典 —2002 年度版—	国際理解教育センター	CD
122	1-1 実践事例 2	ゼロから始める主権者教育 18 歳の選挙権	PARC	DVD
123	2-0 南北問題 1	フード・ファースト・カリキュラム 食べものを通じて世界を見つめよう	国際理解教育センター	ブックレット
124	2-0 南北問題 2	テーマワーク グローバルな視野を活動の中で育てる	国際理解教育センター	ブックレット
125	2-0 南北問題 3	食べものから世界が見える	地球市民アカデミア	ワークキット
126	2-0 南北問題 4	マジカルバナナ	地球の木	ワークキット
127	2-0 南北問題 5	改訂版 NEW マジカルバナナ	地球の木	ワークキット
128	2-0 南北問題 6	「援助」する前に考えよう 参加型開発と PLA がわかる本	開発教育協会	ブックレット
129	2-0 南北問題 7①②	いい貿易って何だろう いっぱいのコーヒーから考える世界の貿易 開発教育教材シリーズ②	開発教育協議会	ブックレット
130	2-0 南北問題 8	たずねてみよう！ カレーの世界 開発教育教材シリーズ③	開発教育協議会	ブックレット
131	2-0 南北問題 9	改訂版 たずねてみよう！ カレーの世界 開発教育教材シリーズ③	開発教育協会	ブックレット
132	2-0 南北問題 10①②	新・貿易ゲーム 開発教育教材シリーズ④	開発教育協会	ブックレット
133	2-0 南北問題 11	新・貿易ゲーム [改訂版]	開発教育協会	ブックレット
134	2-0 南北問題 12	貧困と開発 豊かさへのエンパワーメント	開発教育協会	ブックレット
135	2-0 南北問題 13	コーヒーカップの向こう側	開発教育協会	ブックレット
136	2-0 南北問題 14	小学校 ユニセフによる地球学習の手引き	教育出版	書籍
137	2-0 南北問題 15	中学校 ユニセフによる地球学習の手引き	教育出版	書籍
138	2-0 南北問題 16	地球に学ぶ新しい地理授業	古今書院	ブックレット
139	2-0 南北問題 17	スマホから考える 世界・わたし・SDGs	開発教育協会	書籍
140	2-0 南北問題 18	コンビニ弁当 16 万キロの旅	太郎次郎社	書籍
141	2-0 南北問題 19	世界から貧しさをなくす 30 の方法	合同出版	書籍
142	2-0 南北問題 20	世界と地球の困った現実	明石書店	書籍
143	2-0 南北問題 21	歩いてみてきたモノのこし方行く末	京都自由学校	ブックレット
144	2-0 南北問題 22	バナナとエビと私たち 岩波ブックレット No.551	岩波書店	ブックレット
145	2-0 南北問題 23	フェア・トレード 公正なる貿易を求めて	新評論	書籍
146	2-0 南北問題 24	日本はどこへ行く？	太郎次郎社	書籍
147	2-0 南北問題 25	世界の貧困 1 日 1 ドルで暮らす人びと	青土社	書籍
148	2-0 南北問題 26	発展神話の仮面を剥ぐ グローバル化は世界を豊かにするのか？	古今書院	書籍
149	2-0 南北問題 27	徹底解剖 100 円ショップ 日常化するグローバリゼーション	コモンズ	書籍
150	2-0 南北問題 28	たまちゃんと南の人びと	明石書店	書籍
151	2-0 南北問題 29	たまちゃんと南の人びと part2	明石書店	書籍
152	2-0 南北問題 30	たまちゃんと南の人びと part3	明石書店	書籍
153	2-0 南北問題 31	世界がもし 100 人の村だったら（英訳付）	マガジンハウス	書籍
154	2-0 南北問題 32	世界がもし 100 人の村だったら②	マガジンハウス	書籍
155	2-0 南北問題 33	世界がもし 100 人の村だったら③たべもの編	マガジンハウス	書籍
156	2-0 南北問題 34	世界がもし 100 人の村だったら④子ども編	マガジンハウス	書籍

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
157	2-0 南北問題 35	新・ワークショップ版 世界がもし 100 人の村だったら	開発教育協会	ブックレット
158	2-0 南北問題 36	改訂版 100 人村カードセット	開発教育協会	ブックレット
159	2-0 南北問題 37①②	100 人村ワークショップセット		ワークキット
160	2-0 南北問題 38	レヌカの学び	あおもり開発教育研究会	ワークキット
161	2-0 南北問題 39	ケータイの一生 ― ケータイを通して知る 私と世界のつながり	開発教育協会	ブックレット
162	2-0 南北問題 40	お弁当屋さんゲーム 一食のグローバリゼーションを考える	開発教育協会	ブックレット
163	2-0 南北問題 41	ケータイの裏側	コモンズ	書籍
164	2-0 南北問題 42	世界の半分が餓えるのはなぜ	合同出版	書籍
165	2-0 南北問題 43	世界がもし 100 人の村だったら 完結編	マガジンハウス	書籍
166	2-0 南北問題 44	NHK 地球データマップ 世界の“今”から“未来”を考える	NHK 出版	書籍
167	2-0 南北問題 45	原木のある森 コーヒーのはじまりの物語	アフリカ理解プロジェクト	書籍
168	2-0 南北問題 46	フードマイレージどこからくる？私たちの食べ物	開発教育協会	書籍
169	2-0 南北問題 47	世界中から人身売買がなくならないのはなぜ？	合同出版	書籍
170	2-0 南北問題 48	ワークショップ版 世界がもし 100 人の村だったら 第 3 版	開発教育協会	ブックレット
171	2-0 南北問題 49	カップめんから世界が見える	WE21 ジャパン 開発教育部会	ワークキット
172	2-0 南北問題 50	地球の水のものがたり～命の水が遠ざかる国～	WE21 ジャパン 開発教育部会	ワークキット
173	2-0 南北問題 51	戦闘機 1 機で学校へ何校つくれるか？	合同出版	書籍
174	2-0 南北問題 52	世界から飢餓を終わらせるための 30 の方法	合同出版	書籍
175	2-0 南北問題 53	旅をしながら	いのちのことば社	絵本
176	2-0 南北問題 54	懐かしい未来～ラダックに学ぶこと	なつみら SHOP	書籍
177	2-0 南北問題 55	妹は 3 才 お医者さんがいてくれたなら	合同出版	書籍
178	2-0 南北問題 56	ダイヤモンドはほんとうに美しいのか？	合同出版	書籍
179	2-0 南北問題 57	ぼくは 8 歳、エイズで死んでいくぼくの話聞いて	合同出版	書籍
180	2-0 南北問題 58	紛争、貧困、環境破壊をなくすために 世界の子どもたちが語る 20 のヒント	合同出版	書籍
181	2-0 南北問題 59	マジカルバナナ V3	地球の木	ワークキット
182	2-0 南北問題 60	ワークショップ版 世界がもし 100 人の村だったら 第 4 版	開発教育協会	ブックレット
183	2-0 南北問題 61	世界の国 1 位と最下位―国際情勢の基礎を知ろう	岩波ジュニア新書	書籍
184	2-0 南北問題 62	世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ	汐文社	絵本
185	2-0 南北問題 63	あなたの T シャツはどこから来たのか？誰も書かなかったグローバリゼーションの真実	東洋経済新報社	書籍
186	2-0 南北問題 64	ワークショップ版 世界がもし 100 人の村だったら 第 5 版	開発教育協会	ブックレット
187	2-0 南北問題 65	世界がもし 100 人の村だったら お金篇	マガジンハウス	書籍
188	2-0 南北問題 66	990 円のジーンズがつくられるのはなぜ？	合同出版	書籍
189	2-0 南北問題 67	ワークショップ版 世界がもし 100 人の村だったら 第 6 版	開発教育協会	ブックレット
190	2-0 南北問題 68	コーヒーカップの向こう側 [2021 改訂版]	開発教育協会	ブックレット
191	2-0 南北問題 69	基本アクティビティ集 5 ー服・ファッション	開発教育協会	ブックレット
192	2-1 南北問題 1	徹底解剖 100 円ショップ 日常化するグローバリゼーション	アジア太平洋資料センター	ビデオ
193	2-1 南北問題 2	あぶない野菜 グローバル化する食卓	アジア太平洋資料センター	ビデオ
194	2-1 南北問題 3	奪われたエビ	アジア太平洋資料センター	ビデオ
195	2-1 南北問題 4	エビの向こうにアジアが見える	アジア太平洋資料センター	ビデオ
196	2-1 南北問題 5	コーヒーの秘密 南北問題が見えてくる！	アジア太平洋資料センター	ビデオ
197	2-1 南北問題 6	種子をまめ！ アグリビジネスとたたかうインド農民	アジア太平洋資料センター	ビデオ
198	2-1 南北問題 7	バナナ植民地・フィリピン	アジア太平洋資料センター	ビデオ
199	2-1 南北問題 8	ゴミを生かす人びと	アジア太平洋資料センター	ビデオ
200	2-1 南北問題 9	路上の子どもたち ブラジル・ストリートチルドレンの闘い	アジア太平洋資料センター	ビデオ
201	2-1 南北問題 10	地球データマップ	NHK	ビデオ
202	2-1 南北問題 11	つながっている世界 今日からできることってなんだろう？	和歌山県人権啓発センター	CD
203	2-1 南北問題 12	身近なモノを通して考える、世界の貧困・格差・環境 私たちの暮らしと世界のつながり	関西 NGO 協議会	DVD
204	2-1 南北問題 13	あいのり「緑の革命」	日本国際飢餓対策機構	DVD
205	2-1 南北問題 14	ゴンドールのやさしい光 パワーポイント版	日本国際飢餓対策機構	DVD
206	2-1 南北問題 15	バイオ燃料 畑でつくるエネルギー	アジア太平洋資料センター	DVD
207	2-1 南北問題 16	食べるためのマグロ売るためのマグロ	アジア太平洋資料センター	DVD
208	2-1 南北問題 17	パームオイル	アジア太平洋資料センター	DVD
209	2-1 南北問題 18	懐かしい未来～ラダックに学ぶこと & 地域から始まる未来：グローバル経済を超えて	なつみら SHOP	DVD
210	2-1 南北問題 19	フードインク		DVD
211	2-1 南北問題 20	おじいさんと草原の小学校	アミューズソフトエンタテインメント	DVD
212	2-1 南北問題 21	もっと！フェアトレード 世界につながる私たちの暮らし	PARC	DVD
213	2-1 南北問題 22	スマホの真実 紛争鉱物と環境破壊とのつながり / ウェイク・アップ・コール	PARC	DVD
214	2-1 南北問題 23	薬は誰のものか エイズ治療薬と大企業の特許権	PARC	DVD
215	2-1 南北問題 24	コンビニの秘密 便利で快適な暮らしの裏で	PARC	DVD
216	2-1 南北問題 25	種子（たね）—みんなのもの？ それとも企業の所有物？	PARC	DVD
217	2-1 南北問題 26	甘いバナナの苦い現実	PARC	DVD
218	2-1 南北問題 27	最後の一滴まで ヨーロッパの隠された水戦争	PARC	DVD
219	3-0 平和 1	世界を変えるお金の使い方	ダイヤモンド社	書籍
220	3-0 平和 2	戦争をやめさせ環境破壊をくいとめる新しい社会のつくり方	合同出版	書籍
221	3-0 平和 3	〔図説〕世界の紛争地域	PHP 研究所	書籍
222	3-0 平和 4	ほんのすこしの勇気から 難民のオレアちゃんがおしえてくれたこと	求龍堂	書籍
223	3-0 平和 5	母さん、ぼくは生きてます	マガジンハウス	書籍
224	3-0 平和 6	正直な気持ちを話そう イスラエル、パレスチナのリアル・ライフ	たちばな出版	書籍
225	3-0 平和 7	地雷の村で「寺子屋」づくり	PHP 研究所	書籍
226	3-0 平和 8①②	Talk for Peace! もっと話そう！	開発教育協議会	ブックレット
227	3-0 平和 9	アフガニスタンから来たモハメッド君のおはなし	つげ書房新社	書籍
228	3-0 平和 10	ぼくの見た戦争 2003 年イラク	ポプラ社	書籍
229	3-0 平和 11	Peace Archives 平和ミュージアム (DVD 付)	岩波書店	書籍・DVD
230	3-0 平和 12	なんみん 難民理解のためのワークブック 故郷をはなれて	難民事業本部	ブックレット
231	3-0 平和 13	増補改訂版 Talk for Peace もっと話そう！ 平和を築くためにできること	開発教育協会	ブックレット
232	3-0 平和 14	アジアのこころ (英訳付)	自由国民社	絵本
233	3-0 平和 15	サニーのおねがい 地雷ではなく花をください (英訳付)	自由国民社	絵本
234	3-0 平和 16	サニー カンボジアへ 続・地雷ではなく花をください (英訳付)	自由国民社	絵本

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
235	3-0 平和 17	サニー ボスニア・ヘルツェゴビナへ 続々・地雷ではなく花をください（英訳付）	自由国民社	絵本
236	3-0 平和 18	サニー アフガニスタンへ 心をこめて地雷ではなく花をください（英訳付）	自由国民社	絵本
237	3-0 平和 19	難民と地雷 全3巻	草土文化	書籍
238	3-0 平和 20	平和のアクティビティブック	YMCA	ブックレット
239	3-0 平和 21	ボーボキ、平和って、なに色？	エピック	絵本
240	3-0 平和 22	イマジン9 想像してごらん、戦争のない世界を	合同出版	絵本
241	3-0 平和 23	ほんのすこしの勇気から 難民のオレアちゃんがおしえてくれたこと	求龍堂	書籍
242	3-0 平和 24	クラスター爆弾なんてもういらない。世界から兵器をなくすみんなの願い	合同出版	書籍
243	3-0 平和 25	岩波 DVD ブック Peace Archives 東京・ゲルニカ・重慶 空襲から平和を考える	岩波書店	書籍・DVD
244	3-0 平和 26	創造的（クリエイティブ）に対立解決―教え方ガイド―	開発教育協会・立教大学	書籍
245	3-0 平和 27	子どもとできる創造的な対立解決―実践ガイド―	開発教育協会	書籍
246	3-0 平和 28	井上ひさしの子どもにつたえる日本国憲法	講談社	書籍
247	3-0 平和 29	『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』	朝日出版社	書籍
248	3-0 平和 30	ピースフルな子どもたち 戦争・暴力・いじめを越えて	せせらぎ出版	書籍
249	3-0 平和 31	大量破壊兵器、カラシニコフを世界からなくす方法	合同出版	書籍
250	3-0 平和 32	ぼくらのアフリカに戦争がなくなるのはなぜ？	合同出版	書籍
251	3-0 平和 33	さよなら紛争（14歳の世渡り術）	河出書房新社	書籍
252	3-0 平和 34	ダイヤモンドはほんとうに美しいのか？	合同出版	書籍
253	3-0 平和 35	ビデオ・メッセージでむすぶアジアと日本―わたしがやってきた戦争のつたえ方（教科書に書かれなかった戦争）	梨の木舎	書籍
254	3-0 平和 36	へいわってどんなこと？ 日・中・韓平和絵本	童心社	絵本
255	3-0 平和 37	開発教育 基本アクティビティ集2 難民	開発教育協会	ブックレット
256	3-1 平和 1	戦争の傷後 Legacies of War	国連広報センター	ビデオ
257	3-1 平和 2	難民女性	UNHCR	ビデオ
258	3-1 平和 3	難民になるって、どういうこと？	UNHCR	ビデオ
259	3-1 平和 4	難民もみんな同じ地球人	UNHCR	ビデオ
260	3-1 平和 5	世界の難民はどこに 2004 年 GLOBAL VIEW	UNHCR	ビデオ
261	3-1 平和 6	ほんのちょっと変えてみよう	UNHCR	ビデオ
262	4-0 環境 1	もうひとつの日本地図	野草社	書籍
263	4-0 環境 2	1秒の世界	ダイヤモンド社	書籍
264	4-0 環境 3	地球がもし 100cm の球だったら	世界文化社	書籍
265	4-0 環境 4	地球では 1 秒間にサッカー場 1 面分の緑が消えている	マガジンハウス	書籍
266	4-0 環境 5	あなたが世界を変える日	学陽書房	書籍
267	4-0 環境 6	地球買いモノ白書	コモンズ	書籍
268	4-0 環境 7	21 世紀の子どもたちが地球を救う	ブロンズ新社	書籍
269	4-0 環境 8	ファシリテーター入門	つげ書房新社	書籍
270	4-0 環境 9	私にできることは、なんだろう	ascom	書籍
271	4-0 環境 10	にもの木のある村（ベンガル語訳付）	大阪国際交流センター	絵本
272	4-0 環境 11	森におかえり（英訳付）	自由国民社	絵本
273	4-0 環境 12	森が海をつくる（英訳付）	自由国民社	絵本
274	4-0 環境 13	空気はだれのもの？（英訳付）	自由国民社	絵本
275	4-0 環境 14	ジェイクの海のなかまたち（英訳付）	自由国民社	絵本
276	4-0 環境 15	ホテルのくる町（英訳付）	自由国民社	絵本
277	4-0 環境 16	エレナとダフニ（英訳付）	自由国民社	絵本
278	4-0 環境 17	森の暮らしの記憶（英訳付）	自由国民社	絵本
279	4-0 環境 18	「私たちのピン川」 北タイ環境教育カリキュラム	開発教育協会	ブックレット
280	4-0 環境 19	食べものから考える環境教育ガイドブック FOOD	エコ・コミュニケーションセンター	ブックレット
281	4-0 環境 20	コミュニティ・エンパワーメント	エコ・コミュニケーションセンター	ブックレット
282	4-0 環境 21	環境教育推進ハンドブック	国際理解教育センター	ブックレット
283	4-0 環境 22	地球のみかた 地球について学ぶカリキュラム（生徒用）	国際理解教育センター	ブックレット
284	4-0 環境 23	地球のみかた 地球について学ぶカリキュラム	国際理解教育センター	ブックレット
285	4-0 環境 24	未来を学ぼう わたしと地球を結ぶ価値観とビジョン	国際理解教育センター	ブックレット
286	4-0 環境 25①②	パーム油のはなし 「地球にやさしい」ってなんだろう？	開発教育協会	ワークキット
287	4-0 環境 26	みみずのカーロ シェファー先生の自然の学校	合同出版	書籍
288	4-0 環境 27	図解 地球の真実（別冊宝島 1397）	宝島社	書籍
289	4-0 環境 28	もっと話そう！ エネルギーと原発のこと 参加型で学び合うための 16 の方法	開発教育協会	書籍
290	4-0 環境 29	パーム油の話 「地球にやさしい」ってなんだろう？ 改訂版	開発教育協会	ワークキット
291	4-0 環境 30	水から広がる学び アクティビティ 20	開発教育協会	ワークキット
292	4-0 環境 31	SDGs と環境教育	学文社	書籍
293	4-0 環境 32	気候変動 開発教育アクティビティ集 3	開発教育協会	ブックレット
294	4-0 環境 33	プラスチックこみ 開発教育アクティビティ集 4	開発教育協会	ブックレット
295	4-0 環境 34	パーム油のはなし 1 ～ 「地球にやさしい」ってなんだろう？ ～＜2018 年改定版＞	開発教育協会	ブックレット
296	4-0 環境 35	パーム油のはなし 2	開発教育協会	ブックレット
297	4-1 環境 1	森はどこへ行く オーストラリアの原生林が日本の紙になるまで	アジア太平洋資料センター	ビデオ
298	4-1 環境 2	緑の砂漠 植林が環境を破壊する	アジア太平洋資料センター	ビデオ
299	4-1 環境 3	切り売りされるタイ ブーケット島の観光開発	アジア太平洋資料センター	ビデオ
300	4-1 環境 4	いつかこの木に見守られて タイ植林体験記	オイスカ	ビデオ
301	4-1 環境 5	緑の革命「あいのり」		ビデオ
302	4-1 環境 6	ペットボトルの水	アジア太平洋資料センター	DVD
303	4-1 環境 7	世界をめぐる電子ゴミ	アジア太平洋資料センター（PARC）	DVD
304	4-1 環境 8	ハードレイン・バンドラの箱から降り注ぐ放射能	アジア太平洋資料センター（PARC）	DVD
305	4-1 環境 9	プラスチックこみ 日本のリサイクル幻想	アジア太平洋資料センター（PARC）	DVD
306	5-0 人権 1	識字 BOX	国際識字年推進和泉連絡会	ワークキット・カルタ・ビデオ
307	5-0 人権 2	人権教育ファシリテーター・ハンドブック 参加型「気づきから築きへ」プログラム	国際理解教育センター	ブックレット
308	5-0 人権 3	いっしょに考えて！ 人権 人権教育ファシリテーターハンドブック 発展編	国際理解教育センター	ブックレット
309	5-0 人権 4	いっしょにすすめよう！ 人権 人権教育ファシリテーターハンドブック 実践編	国際理解教育センター	ブックレット
310	5-0 人権 5	人権教育のためのコンパス [羅針盤]	明石書店	書籍
311	5-0 人権 6	同和問題・人権問題学習教材（パート4） こうもりくん	滋賀県解放県民センター	ブックレット
312	5-0 人権 7	国際理解教育と人権	開放出版社	書籍

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
313	5-0 人権 8	ブエノス・ディアス・ニッポン ～外国人が生きる「もうひとつの日本」～	ラティエナ	書籍
314	5-0 人権 9	知っていますか？ 死刑と人権 一問一答	解放出版社	書籍
315	5-0 人権 10	非核と先住民族の独立をめざして	現代人文社	ブックレット
316	5-0 人権 11	デカセーギ 逆流する日系ブラジル人	草思社	書籍
317	5-0 人権 12	米軍に土地を奪われた沖縄人	新読書社	書籍
318	5-0 人権 13	ええぞ、カルロス	大阪市立総合生涯学習センター	絵本
319	5-0 人権 14	チョコレートから世界が見える人権を基盤にした ESD 教材	ヒューライツ大阪	書籍
320	5-0 人権 15	『人権で世界を変える 30 の方法』（ヒューマンライツ・ナウ編）	合同出版	書籍
321	5-0 人権 16	あなたとわたしの幸せを築く世界人権宣言 世界人権宣言	世界人権宣言大阪連絡会議	ブックレット
322	5-0 人権 17	ヘイトスピーチとたたかう！	岩波書店	書籍
323	5-0 人権 18	人権教育指導資料集 人権教育を進めるために	長野県教育委員会	書籍
324	5-0 人権 19	地球市民の人権教育ー15 歳からのレッスンプラン	解放出版社	書籍
325	5-0 人権 20	多様性の学級づくり 人権教育アクティビティ集	解放出版社	書籍
326	5-0 人権 21	外国人はなぜ消防士になれないかー公的な国籍差別の撤廃に向けてー	田畑書店	書籍
327	5-0 人権 22	ちがいドキドキ多文化共生ナビー在日外国人教育実践プラン集～	大阪府在日外国人教育研究協議会	書籍
328	5-0 人権 23	ダイバーシティ・トレーニング・ブック 多様性研修のてびき	解放出版社	書籍
329	5-0 人権 24	もうこう岸には	ほるぷ出版	絵本
330	5-0 人権 25	鳥 よくある物語	飛鳥新社	絵本
331	5-0 人権 26	日常生活に埋め込まれたマイクロアグレッションー人種、ジェンダー、性的指向：マイノリティに向けられる無意識の差別	明石書店	書籍
332	5-0 人権 27	無意識のバイアスー人はなぜ人種差別をするのか	明石書店	書籍
333	5-0 人権 28	差別はたいてい悪意のない人がする	大月書店	書籍
334	5-1 人権 1	国際人権を知っていますか ～国連と市民のとりくみ～	ヒューライツ大阪	ビデオ
335	5-1 人権 2	自立をめざして ～アジアの女性とこどもたち～	ヒューライツ大阪	ビデオ
336	5-1 人権 3	日本の国際化と人権 ～違いを認めあう地域社会を～	ヒューライツ大阪	ビデオ
337	5-1 人権 4	女たちが語るインド	アジア太平洋資料センター	ビデオ
338	5-1 人権 5	もうひとつの戦争 インドの人口政策と女性たち	アジア太平洋資料センター	ビデオ
339	5-1 人権 6	映画ジャバルカ日本語版 私たちの電気がアボリジニの大地を壊す	アジア太平洋資料センター	ビデオ
340	5-1 人権 7	ミナ笑顔を 37 言語収録版 DVD	ACCU	DVD
341	5-1 人権 8	DVD もうひとつのツーリズム「先住民族エコツアーの始動」NGO/NPO キャンペーンハンドブック	NPO 法人さっぽろ自由学校「遊」	DVD
342	6-0 英語教育 1	JAPAN ALMANAC 2005 英和対訳データ年鑑	朝日新聞社	書籍
343	6-0 英語教育 2	公立小学校でやってみよう！ 英語	草木文化	書籍
344	6-0 英語教育 3	総合英語：地球市民として生きる	三修社	ブックレット
345	6-0 英語教育 4	英語で国際理解教育（CD 付）小学 1・2 年版	小学館	書籍・CD
346	6-0 英語教育 5	英語で国際理解教育（CD 付）小学 3・4 年版	小学館	書籍・CD
347	6-0 英語教育 6	英語で国際理解教育（CD 付）小学 5・6 年版	小学館	書籍・CD
348	6-0 英語教育 7	小学校英語の授業プラン つくって調べる地球環境（CD 付）	小学館	書籍・CD
349	6-0 英語教育 8	小学生の英会話活動 ～ゲームと歌あそび～	小学館	書籍
350	6-0 英語教育 9	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい！人間について	金の星社	絵本
351	6-0 英語教育 10	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい！平和について	金の星社	絵本
352	6-0 英語教育 11	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい！環境について	金の星社	絵本
353	6-0 英語教育 12	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい！いろいろな文化	金の星社	絵本
354	6-0 英語教育 13	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい！世界の国々	金の星社	絵本
355	6-0 英語教育 14	えほんで楽しむ英語の世界	一声社	書籍
356	6-0 英語教育 15	アメリカの小学校ではこうやって英語を教えている	径書房	書籍
357	6-0 英語教育 16	CAN YOU FIND ME?	ACCU	絵本
358	6-0 英語教育 17	はじめての英語の歌ー歌でおぼえるらくらくイングリッシュ	学研マーケティング	書籍
359	6-0 英語教育 18	ヘンリーおじさんの英語でレッスンができる本ーネイティブが教える、子ども英語教室フレーズ集	アルク	書籍
360	6-0 英語教育 19	小学校 テーマで学ぶ英語活動 BOOK1	三友社出版	書籍
361	6-0 英語教育 20	和の行事えほん Annual Events in Japan Spring & Summer	Ehon House	書籍
362	6-0 英語教育 21	和の行事えほん Annual Events in Japan Autumn & Winter	Ehon House	書籍
363	6-0 英語教育 22①	your world 英語テキスト	サクソコートパブリッシング	書籍
364	6-0 英語教育 22②	your world 英語テキスト 別売指導用 CD	サクソコートパブリッシング	CD-ROM
365	6-0 英語教育 23①	your world 国際理解テキスト	サクソコートパブリッシング	書籍
366	6-0 英語教育 23②	your world 国際理解テキスト 別売指導用 CD	サクソコートパブリッシング	CD-ROM
367	6-0 英語教育 24	チャレンジ！キッズ スピーチ 1 できるよ！はじめてのスピーチ	大月書店	書籍
368	6-0 英語教育 25	チャレンジ！キッズ スピーチ 2 平和をもとめた子どもたち	大月書店	書籍
369	6-0 英語教育 26	チャレンジ！キッズ スピーチ 3 子どもの権利をうったえる	大月書店	書籍
370	7-0 多文化 1	My name is… 世界にひとつだけの名前	角川書店	書籍
371	7-0 多文化 2	日本のなかの世界	新幹社	書籍
372	7-0 多文化 3	多文化共生のジレンマ	明石書店	書籍
373	7-0 多文化 4	多文化共生の学校づくり	明石書店	書籍
374	7-0 多文化 5	多文化共生のまちづくり	明石書店	書籍
375	7-0 多文化 6	多文化教育 多様性のための教育学	明石書店	書籍
376	7-0 多文化 7	幼児のための多文化理解教育	明石書店	書籍
377	7-0 多文化 8	多文化教育を拓く	明石書店	書籍
378	7-0 多文化 9	多文化・人権教育学校をつくる	明石書店	書籍
379	7-0 多文化 10	雨森芳洲と朝鮮通信使かるた	雨森芳洲庵	かるた
380	7-0 多文化 11	歴史教科書 在日コリアンの歴史	明石書店	書籍
381	7-0 多文化 12	滋賀のなかの朝鮮	明石書店	書籍
382	7-0 多文化 13	外国人のためのお弁当（3ヶ国語：日・中・英語）	関西生命線	書籍
383	7-0 多文化 14	多文化共生保育 Q&A	大阪保育子育て人権情報研究センター	ブックレット
384	7-0 多文化 15	アフリカ 理解ハンドブック ーアフリカと私たち	アフリカ日本協議会	ブックレット
385	7-0 多文化 16	くらべてみよう！ 日本と世界の 食べ物と文化	講談社	書籍
386	7-0 多文化 17	パパラギ	立風書房	絵本
387	7-0 多文化 18	世界のあいさつ	福音館書店	絵本
388	7-0 多文化 19	見る・つくる・知る おしゃれなアフリカ 1 アフリカドレス	明石書店	書籍
389	7-0 多文化 20	見る・つくる・知る おしゃれなアフリカ 2 アフリカンキッチン	明石書店	書籍
390	7-0 多文化 21	見る・つくる・知る おしゃれなアフリカ 3 アフリカンリビング	明石書店	書籍

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
391	7-0 多文化 22	たくさんのふしぎ傑作集 手で食べる？	福音館書店	絵本
392	7-0 多文化 23	たくさんのふしぎ傑作集 いっぱんの鉛筆のむこうに	福音館書店	絵本
393	7-0 多文化 24	世界のじゃんけん	今人舎	書籍
394	7-0 多文化 25	世界の外あそび	今人舎	書籍
395	7-0 多文化 26	韓国・朝鮮と出会う	国土社	書籍
396	7-0 多文化 27	中国と出会う	国土社	書籍
397	7-0 多文化 28	フィリピンと出会う	国土社	書籍
398	7-0 多文化 29	ブラジルと出会う	国土社	書籍
399	7-0 多文化 30	多文化子どもの歌集 (CD 付)	明石書店	ブックレット・CD
400	7-0 多文化 31	朝鮮をどう教えるか	解放出版社	書籍
401	7-0 多文化 32	オーストラリア発見 (対訳本・ビデオ 2 本付)	豪日交流基金	ブックレット・ビデオ
402	7-0 多文化 33	いろんな国・いろんなことば 全 6 巻 (ビデオ付)	ポプラ社	絵本・ビデオ
403	7-0 多文化 34	ひょうたん島問題 ～多文化共生をめざして～ (CD 付)	デジタルマジック	ワークキット
404	7-0 多文化 35	シミュレーション教材「ひょうたん島問題」	明石書店	書籍
405	7-0 多文化 36①②	ブラジルボックス	滋賀県国際協会	ワークキット
406	7-0 多文化 37①②	かるた「わたしん家の食事から」	滋賀県国際協会	ワークキット
407	7-0 多文化 38	多文化共生キーワード事典	明石書店	書籍
408	7-0 多文化 39	ニューカマーの子どもと学校文化	勁草書房	書籍
409	7-0 多文化 40	外国人の子どもと日本の教育	東京大学出版会	書籍
410	7-0 多文化 41	ブエノス・ディアス、ニッポンー外国人が生きる「もうひとつのニッポン」	ラティエナ	書籍
411	7-0 多文化 42	多文化保育論	学文社	書籍
412	7-0 多文化 43	乳幼児とその家族への早期支援	北大路書房	書籍
413	7-0 多文化 44	新版 シミュレーション教材「ひょうたん島問題」	明石書店	書籍
414	7-0 多文化 45	多文化共生社会と外国人コミュニティの力	現代人文社	書籍
415	7-0 多文化 46	顔の見えない定住化	名古屋大学出版会	書籍
416	7-0 多文化 47	「多文化パワー」社会ー多文化共生を超えて	明石書店	書籍
417	7-0 多文化 48	まんが クラスメイトは外国人 多文化共生 20 の物語	明石書店	書籍
418	7-0 多文化 49	世界あちこちゆかいな家めぐり	福音館書店	書籍
419	7-0 多文化 50	トイレのおかげ	福音館書店	書籍
420	7-0 多文化 51	絵本で育てる情報分析力	一声社	書籍
421	7-0 多文化 52	多文化共生社会の保育者ー ぶつかってもだいじょうぶ	北大路書房	書籍
422	7-0 多文化 53	異文化コミュニケーションー新・国際人への条件	有斐閣選書	書籍
423	7-0 多文化 54	絵本 世界の食事①<フランスのごはん>	農文協	書籍
424	7-0 多文化 55	絵本 世界の食事②<インドのごはん>	農文協	書籍
425	7-0 多文化 56	絵本 世界の食事③<韓国のごはん>	農文協	書籍
426	7-0 多文化 57	絵本 世界の食事④<イタリアのごはん>	農文協	書籍
427	7-0 多文化 58	絵本 世界の食事⑤<メキシコのごはん>	農文協	書籍
428	7-0 多文化 59	絵本 世界の食事⑥<ドイツのごはん>	農文協	書籍
429	7-0 多文化 60	絵本 世界の食事⑦<ブラジルのごはん>	農文協	書籍
430	7-0 多文化 61	絵本 世界の食事⑧<中国のごはん>	農文協	書籍
431	7-0 多文化 62	絵本 世界の食事⑨<タイのごはん>	農文協	書籍
432	7-0 多文化 63	絵本 世界の食事⑩<トルコのごはん>	農文協	書籍
433	7-0 多文化 64	絵本 世界の食事⑪<モンゴルのごはん>	農文協	書籍
434	7-0 多文化 65	絵本 世界の食事⑫<フィンランドのごはん>	農文協	書籍
435	7-0 多文化 66	絵本 世界の食事⑬<ベトナムのごはん>	農文協	書籍
436	7-0 多文化 67	絵本 世界の食事⑭<スペインのごはん>	農文協	書籍
437	7-0 多文化 68	絵本 世界の食事⑮<ペルーのごはん>	農文協	書籍
438	7-0 多文化 69	The World of Street Food Easy quick meals to cook at home	ニュー・インターナショナル・ジャパン	書籍
439	7-0 多文化 70	原木のある森 コーヒーのはじまりの物語	アフリカ理解プロジェクト	書籍
440	7-0 多文化 71	非識字体験ゲーム 「ここは、何色?」「はじめてのお見舞い」	滋賀県国際協会	ワークキット
441	7-0 多文化 72	「言葉がわからない」体験ゲーム 何が起こった? (震災編)	滋賀県国際協会	ワークキット
442	7-0 多文化 73	日本と世界のおもしろことわざ～ことわざで文化を比較しよう～ 第 1 巻 生きる知恵	学研教育出版	書籍
443	7-0 多文化 74	日本と世界のおもしろことわざ～ことわざで文化を比較しよう～ 第 2 巻 人情	学研教育出版	書籍
444	7-0 多文化 75	日本と世界のおもしろことわざ～ことわざで文化を比較しよう～ 第 3 巻 損得と運	学研教育出版	書籍
445	7-0 多文化 76	日本と世界のおもしろことわざ～ことわざで文化を比較しよう～ 第 4 巻 才能と経験	学研教育出版	書籍
446	7-0 多文化 77	日本と世界のおもしろことわざ～ことわざで文化を比較しよう～ 第 5 巻 世の中	学研教育出版	書籍
447	7-0 多文化 78	日本と世界のおもしろことわざ～ことわざで文化を比較しよう～ 第 6 巻 ことわざのいろいろ	学研教育出版	書籍
448	7-0 多文化 79	私も「移動する子ども」だった 異なる言語の間で育った子どもたちのライフストーリー	くろしお出版	書籍
449	7-0 多文化 80	在日コリアン女性 20 人の軌跡	明石書店	書籍
450	7-0 多文化 81	ぐずぐず言わせて! わたしらの居場所 「わたしのこと」シリーズ vol.2	(財) 神奈川県国際交流協会	書籍
451	7-0 多文化 82	先住民族と ESD	立教大学 ESD 研究センター	書籍
452	7-0 多文化 83	続・先住民族と ESD	立教大学 ESD 研究センター	書籍
453	7-0 多文化 84	教材『CHAMPURREANDO ～世界のウチナンチュ発! 多文化共生』	NPO 法人沖縄 NGO センター	教材セット
454	7-0 多文化 85	世界のウチナンチュかるたチャンプレアンド 日本語+英語版	NPO 法人沖縄 NGO センター	カルタ
455	7-0 多文化 86	3・11 後の多文化家族	明石書店	書籍
456	7-0 多文化 87	外国にルーツを持つ子どもたち 思い・制度・展望	(財) アジア・太平洋人権情報センター	書籍
457	7-0 多文化 88	いつだって、そばにいるよ。	NTT 出版	書籍
458	7-0 多文化 89	未来をつくる教育 ESDー持続可能な多文化社会をめざして	明石書店	書籍
459	7-0 多文化 90	異文化間教育ー文化間移動と子どもの教育	明石書店	書籍
460	7-0 多文化 91	言葉図鑑 なまえのことばとくらしのことば 1 にほんご・えいご・ポルトガルご・スペインご	偕成社	絵本
461	7-0 多文化 92	言葉図鑑 なまえのことばとくらしのことば 2 にほんご・えいご・ポルトガルご・スペインご	偕成社	絵本
462	7-0 多文化 93	フィリピンかあちゃん奮闘記 in ジャパン	文化社	書籍
463	7-0 多文化 94	異文化理解入門	平凡社	書籍
464	7-0 多文化 95	外国人から見たニッポン	ディスカヴァー・トゥエンティワン	書籍
465	7-0 多文化 96	Playtime	Oxfam	英語絵本
466	7-0 多文化 97	Bicycles	Oxfam	英語絵本
467	7-0 多文化 98	Home	Oxfam	英語絵本
468	7-0 多文化 99	Our Animals	Oxfam	英語絵本

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
469	7-0 多文化 100	At School	Oxfam	英語絵本
470	7-0 多文化 101	ぼく、いいもの いっぱい～日本語で学ぶ子どもたち～	子どもの未来社	絵本
471	7-0 多文化 102	わたしが外人だったころ	福音館書店	絵本
472	7-0 多文化 103	ビビのアフリカ旅行	ポプラ社	書籍
473	7-0 多文化 104	まんがで学ぶ 世界の宗教	あさ出版	書籍
474	7-0 多文化 105	絵本で学ぶイスラームの暮らし	あすなろ書房	絵本
475	7-0 多文化 106	アラブから こんにちは 灼熱、イスラーム、魔人、子育て～未知なるアラブの生活事情	国書刊行会	書籍
476	7-0 多文化 107	アイ アム ジャパニーズ これがハーフ芸人の生きる道	ワニブックス	書籍
477	7-0 多文化 108	ハーフが美人なんて妄想ですから！！ 困った「純ジャパ」との闘いの日々	中央公論新社	書籍
478	7-0 多文化 109①②	わたしん家の食事から カードゲーム版	(公財) 滋賀県国際協会	ワークキット
479	7-0 多文化 110	境界に生きる 暮らしの中の多文化共生	解放出版社	書籍
480	7-0 多文化 111	同級生は外国人!?①「どうしてルールが守れないの？」	汐文社	書籍
481	7-0 多文化 112	同級生は外国人!?②「どうして頭にスカーフを巻いているの？」	汐文社	書籍
482	7-0 多文化 113	同級生は外国人!?③「日本がきらいなのかな？」	汐文社	書籍
483	7-0 多文化 114	いのり一聖なる場所	光村教育図書	絵本
484	7-0 多文化 115	世界のお弁当～心をつなぐ味レシピ 55	河出書房新社	写真集
485	7-0 多文化 116	おんなし、おんなじ！でも、ちょっとちがう！	光村教育図書	絵本
486	7-0 多文化 117	アフリカ少年が日本で育った結果	毎日新聞出版	書籍
487	7-0 多文化 118	まんが クラスメイトは外国人 課題編 私たちが向き合う多文化共生の現実	明石書店	書籍
488	7-0 多文化 119	ふたりのサンドウィッチ	TO ブックス	絵本
489	7-0 多文化 120	スポーツでひろげる国際理解3 国境をこえるスポーツ	文溪堂	書籍
490	7-0 多文化 121	国籍の？(ハテナ)がわかる本	太郎次郎社エディタス	書籍
491	7-0 多文化 122	ランカ にほんにやってきた おんなのこ	偕成社	絵本
492	7-1 多文化 1	アニニョハシムニカ 素顔の韓国 サワデリカー ほほ笑みの国・タイ	アジア女性交流・研究フォーラム	ビデオ
493	7-1 多文化 2	スラマシアン インドネシアの子どもたち	アジア女性交流・研究フォーラム	ビデオ
494	7-1 多文化 3	マブハイ 陽気なフィリピンの子どもたち	アジア女性交流・研究フォーラム	ビデオ
495	7-1 多文化 4	となりに生きる外国人	アジア太平洋資料センター	ビデオ
496	7-1 多文化 5	国際理解 はじめの一步 インドネシア・バリ島編	インドネシア教育振興会	CD
497	7-1 多文化 6	Ciranda,Cirandinha	多文化共生センター	CD
498	7-1 多文化 7	孤独なツバメたち～デカセキの子供に生まれて～	TO ブックス	DVD
499	7-1 多文化 8	ナニジン？ - トモダチ作戦 -	(公財) とよなか国際交流協会	DVD
500	7-1 多文化 9	こんばんは 墨田区立文花中学校夜間学級	「こんばんは」 全国上映	
501	8-0 写真 1	百年の愚行	紀伊国屋書店	書籍
502	8-0 写真 2	「ゴミと宝石」 フィリピン、スモークマウンテンの子供たち	第三書館	書籍
503	8-0 写真 3	イラクに生きる I love Iraq	国土社	書籍
504	8-0 写真 4	INDIA Fairs&Festivals	学研	書籍
505	8-0 写真 5	Who? 報道されないアフガンの素顔	平和出版	書籍
506	8-0 写真 6	地球の仲間たち フォトランゲージ アメリカ合衆国	開発教育を考える会	ワークキット
507	8-0 写真 7	地球の仲間たち フォトランゲージ エクアドル	開発教育を考える会	ワークキット
508	8-0 写真 8	地球の仲間たち フォトランゲージ エチオピア	開発教育を考える会	ワークキット
509	8-0 写真 9	地球の仲間たち フォトランゲージ ガーナ	開発教育を考える会	ワークキット
510	8-0 写真 10	地球の仲間たち フォトランゲージ コートジボアール	開発教育を考える会	ワークキット
511	8-0 写真 11	地球の仲間たち フォトランゲージ コスタリカ	開発教育を考える会	ワークキット
512	8-0 写真 12	地球の仲間たち フォトランゲージ コロンビア	開発教育を考える会	ワークキット
513	8-0 写真 13	地球の仲間たち フォトランゲージ スリランカ	開発教育を考える会	ワークキット
514	8-0 写真 14	地球の仲間たち フォトランゲージ 中国	開発教育を考える会	ワークキット
515	8-0 写真 15	地球の仲間たち フォトランゲージ ニカラグア	開発教育を考える会	ワークキット
516	8-0 写真 16	地球の仲間たち フォトランゲージ ニジェール	開発教育を考える会	ワークキット
517	8-0 写真 17	地球の仲間たち フォトランゲージ ネパール (ニッキー)	開発教育を考える会	ワークキット
518	8-0 写真 18	地球の仲間たち フォトランゲージ ネパール (ブラサンタ)	開発教育を考える会	ワークキット
519	8-0 写真 19	地球の仲間たち フォトランゲージ ハンガリー	開発教育を考える会	ワークキット
520	8-0 写真 20	地球の仲間たち フォトランゲージ パキスタン	開発教育を考える会	ワークキット
521	8-0 写真 21	地球の仲間たち フォトランゲージ バヌアツ	開発教育を考える会	ワークキット
522	8-0 写真 22	地球の仲間たち フォトランゲージ パプアニューギニア	開発教育を考える会	ワークキット
523	8-0 写真 23	地球の仲間たち フォトランゲージ バラグアイ	開発教育を考える会	ワークキット
524	8-0 写真 24	地球の仲間たち フォトランゲージ ブルガリア	開発教育を考える会	ワークキット
525	8-0 写真 25	地球の仲間たち フォトランゲージ ホンジュラス	開発教育を考える会	ワークキット
526	8-0 写真 26	地球の仲間たち フォトランゲージ ボツワナ	開発教育を考える会	ワークキット
527	8-0 写真 27	地球の仲間たち フォトランゲージ ボリビア	開発教育を考える会	ワークキット
528	8-0 写真 28	地球の仲間たち フォトランゲージ モルディブ	開発教育を考える会	ワークキット
529	8-0 写真 29	地球の仲間たち フォトランゲージ ラオス	開発教育を考える会	ワークキット
530	8-0 写真 30	地球の仲間たち フォトランゲージ ヨルダン	開発教育を考える会	ワークキット
531	8-0 写真 31	地球家族	TOTO 出版	写真書籍
532	8-0 写真 32	続地球家族	TOTO 出版	写真書籍
533	8-0 写真 33	地球の食卓	TOTO 出版	写真書籍
534	8-0 写真 34	祝祭 世界の祭り・民族・文化	クレオ	写真書籍
535	8-0 写真 35	地球人記	福音館書店	写真書籍
536	8-0 写真 36	地球人生活記	福音館書店	写真書籍
537	8-0 写真 37	地球家族 フォトランゲージ版	国際理解教育センター	写真
538	8-0 写真 38①②	地球家族 フォトランゲージ版 (A4 版)	国際理解教育センター	写真
539	8-0 写真 39	地球家族 フォトランゲージ版 (A3 版)	国際理解教育センター	写真
540	8-0 写真 40	地球の食卓 フォトランゲージ (B4 版)	国際理解教育センター	写真
541	8-0 写真 41	MONO 変身図鑑	JICA	写真、CD
542	8-0 写真 42	写真集「ギフト」 GIFT to children of Angkor	マガジンハウス	書籍
543	8-0 写真 43	地球の仲間たち CD-Rom 版	開発教育を考える会	CD
544	8-0 写真 44①②	写真で学ぼう！ 地球の食卓 学習プラン 10	開発教育協会	写真、解説書
545	8-0 写真 45	地球のごはん 世界 30 カ国 80 人のいただきます	TOTO 出版	写真書籍
546	8-0 写真 46	トランクの中の日本 米従軍カメラマンの非公式記録	小学館	写真書籍

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
547	8-0 写真 47	食べもの記—EATING ON EARTH	福音館書店	写真書籍
548	9-0 メディア 1	ニュースに耳を傾ける ブローバル・エクスプレス第1号	開発教育協会	ブックレット
549	9-0 メディア 2	攻撃を超えて ブローバル・エクスプレス第2号	開発教育協会	ブックレット
550	9-0 メディア 3	難民 ブローバル・エクスプレス第3号	開発教育協会	ブックレット
551	9-0 メディア 4	イラク グローバル・エクスプレス第4号	開発教育協会	ブックレット
552	9-0 メディア 5	戦争報道 ブローバル・エクスプレス第5号	開発教育協会	ブックレット
553	9-0 メディア 6	メディア・リテラシー【入門編】	リベルタ出版	書籍
554	9-0 メディア 7	NIE ワークシート 100 例	晩成書房	書籍
555	9-0 メディア 8	時事問題を教室へグローバルエクスプレス(無料ダウンロード版)	開発教育協会	
556	10-0 子ども 1	アジアの子ども	明石書店	書籍
557	10-0 子ども 2	シエラレオネ 5 歳まで生きられない子どもたち	アートン	書籍
558	10-0 子ども 3	こどもの権利を買わないで - プンとミーチャのものがたり (英訳付)	自由国民社	絵本
559	10-0 子ども 4	「日本の子どもは何をして働いているの?」	国際子ども権利センター	絵本
560	10-0 子ども 5	世界の子どもたち NGO の現場から	明石書店	書籍
561	10-0 子ども 6	ロサーリオの死 - 少女の残したものの -	日本ユニセフ協会	書籍
562	10-0 子ども 7	子ども地球白書 2002-2003	朔北社	書籍
563	10-0 子ども 8	児童の権利に関する条約	外務省	ブックレット
564	10-0 子ども 9	世界の子どもたちに今おきていること	日本ユニセフ協会	書籍
565	10-0 子ども 10	多発する少女買春 子どもを買う男たち	新評論	書籍
566	10-0 子ども 11	子どもたちのアフリカ	岩波書店	書籍
567	10-0 子ども 12	「ストリートチルドレン・100 人の子どもたち」教材パッケージ (ビデオ 2 本付)	シャプラニール	ワークキット・ビデオ
568	10-0 子ども 13	わたし 8 歳、カカオ畑で働きつづけて	ACE	書籍
569	10-0 子ども 14	ワークショップ『大切なものは何ですか?』～子どもたちがうつしたカンボジアの今	Eデューショナルサポートセンター [Edu]	ワークキット
570	10-0 子ども 15	スクールセクシャルハラスメント	国際子ども権利センター	書籍
571	10-0 子ども 16	子どもの権利条約カードとユニセフポスターセット		ワークキット
572	10-0 子ども 17	おいしいチョコレートの実態～働く子どもたちとわたしたちとのつながり～	ACE	ワークキット
573	10-0 子ども 18	もたないばあさんと考えよう世界のこと	講談社	書籍
574	10-0 子ども 19	ぼくら地球市民 1 戦争なんてもうやめて	大月書店	書籍
575	10-0 子ども 20	ぼくら地球市民 2 キッズパワーが世界を変える	大月書店	書籍
576	10-0 子ども 21	ぼくら地球市民 3 わたしと地球の約束	大月書店	書籍
577	10-0 子ども 22	どこにいるかわかる?	こぐま社	絵本
578	10-0 子ども 23	世界の子どもたちは今一子ども兵士	リブリオ出版	書籍
579	10-0 子ども 24	世界の子どもたちは今一児童労働	リブリオ出版	書籍
580	10-0 子ども 25	世界の子どもたちは今一子どもの人身売買	リブリオ出版	書籍
581	10-0 子ども 26	「ぼくは 12 歳、路上で暮らしてはじめてわけ。——私には何ができますか? その悲しみがなくなる日を夢見て」	合同出版	書籍
582	10-0 子ども 27	子どもの参加を促すガイド	jne	書籍
583	10-0 子ども 28	貧しい国で女の子として生きるとのこと 開発途上国からの 5 つの物語	遊タイム出版	書籍
584	10-0 子ども 29	「世界中の子どもに教育を」キャンペーン 2011 女の子と女性の教育	「世界中の子どもに教育を」キャンペーン事務局	ワークキット
585	10-0 子ども 30	おかえり、またあえたね ストリートチルドレン・トトのものがたり	東京書籍	書籍
586	10-0 子ども 31	ダイヤモンドより平和がほしい—子ども兵士・ムリアの告白	汐文社	書籍
587	10-0 子ども 32	この T シャツはどこからくるの? - ファッションの裏側になる児童労働の実態—	(特活) ACE	ワークキット
588	10-0 子ども 33	わたしは 13 歳、学校に行けずに花嫁になる。	合同出版	書籍
589	10-0 子ども 34	ぼくがラーメン たべるとき	教育画劇	絵本
590	10-0 子ども 35	写真でのぞいてみよう - 世界で働く子どもの生活	フリー・ザ・チルドレン・ジャパン	ワークキット
591	10-0 子ども 36	児童労働シミュレーションカードゲーム	フリー・ザ・チルドレン・ジャパン	ワークキット
592	10-0 子ども 37	わたし 8 歳、職業、家事使用人	合同出版	書籍
593	10-0 子ども 38	すごいね! みんなの通学路	西村書店	写真絵本
594	10-0 子ども 39	私はどこで生きていけばいいの?	西村書店	写真絵本
595	10-0 子ども 40	世界を変えるために 50 の小さな革命	太郎次郎エディタス	書籍
596	10-0 子ども 41	世界中の子どもの権利をまもる 30 の方法	合同出版	書籍
597	10-0 子ども 42	こども SDGs なぜ SDGs が必要なのかがわかる本	カンゼン	書籍
598	10-0 子ども 43	世界がぐっと近くなる SDGs とボくらをつなぐ本	学研プラス	書籍
599	10-1 子ども 1	I am child! 働かされる子供たち	ILO	ビデオ
600	10-1 子ども 2	STOP CHILD LABOUR	ILO	ビデオ
601	11-0 地図 1	くらべてわかる世界地図① 暴力の世界地図	大月書店	書籍
602	11-0 地図 2	くらべてわかる世界地図② 学校の世界地図	大月書店	書籍
603	11-0 地図 3	くらべてわかる世界地図③ ジェンダーの世界地図	大月書店	書籍
604	11-0 地図 4	くらべてわかる世界地図④ 福祉の世界地図	大月書店	書籍
605	11-0 地図 5	くらべてわかる世界地図⑤ 文化の世界地図	大月書店	書籍
606	11-0 地図 6	ワールドバンクミニアトラス	シュプリンガー・フェアラーク東京	書籍
607	11-0 地図 7	食料の世界地図	丸善	書籍
608	11-0 地図 8	NHK スペシャル データマップ 63 億人の地図 いのちの地図帳	アスコム	書籍
609	11-0 地図 9①②	No Longer Down Under	Hallifax	地図
610	11-0 地図 10	世界がみえる 地図の絵本	あすなろ書房	絵本
611	11-0 地図 11①②	Mapping our World	Oxfam	ブックレット
612	11-0 地図 12	今がわかる 時代がわかる 世界地図 2003 年版	成美堂出版	書籍
613	11-0 地図 13	今がわかる 時代がわかる 世界地図 2005 年版	成美堂出版	書籍
614	11-0 地図 14	今がわかる 時代がわかる 日本地図 2005 年版	成美堂出版	書籍
615	11-0 地図 15	Hunger Map もう一枚の世界地図	国際連合世界食糧計画	ブックレット
616	11-0 地図 16	Hunger Map ハンガーマップ	国際連合世界食糧計画	ワークキット
617	11-0 地図 17	イエティを探せ	ゆまに書房	絵本
618	11-0 地図 18	ピーター図マッピング	Oxfam	地図
619	11-0 地図 19	世界地図 (アフリカ中心)		地図
620	11-0 地図 20	<文化の世界地図> 大型地図	グローバルみらい塾	地図
621	11-0 地図 21	<文化の世界地図> 解説冊子	グローバルみらい塾	冊子
622	11-0 地図 22	EARTH at NIGHT 宇宙から見た夜の地球授業指導例 (ポスター) 指導書付き	エネルギー教育全国協議会事務局	地図
623	11-0 地図 23	MAPS 新・世界地図	徳間書店	地図
624	11-0 地図 24	地図でみる日本の外国人 改訂版	ナカニシヤ出版	書籍

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
625	12-0 国際協力 1①②③	JICA フォトランゲージキット	国際協力事業団	ワークキット
626	12-0 国際協力 2	いま私たちにできること	国際協力事業団	ブックレット
627	12-0 国際協力 3①②	ミレニアム開発目標 とともに生きる地球市民	外務省	ブックレット
628	12-0 国際協力 4	人口問題 ブリーフィング・キット 2001	アジア人口・開発協会	ブックレット
629	12-0 国際協力 5	世界人口白書 2002 人々・貧困・ひろがる可能性	アジア人口・開発協会	ブックレット
630	12-0 国際協力 6	世界子供白書 2003	ユニセフ	ブックレット
631	12-0 国際協力 7	世界子供白書 2004	ユニセフ	ブックレット
632	12-0 国際協力 8	世界子供白書 2005 危機に晒される子どもたち	ユニセフ	ブックレット
633	12-0 国際協力 9	世界子供白書 2006 存在しない子どもたち	ユニセフ	ブックレット
634	12-0 国際協力 10①②	開発のための教育	ユニセフ	ブックレット
635	12-0 国際協力 11①②	地球のともだち ユニセフワークブック	ユニセフ	ブックレット
636	12-0 国際協力 12①②	「総合的な学習の時間」とユニセフ	ユニセフ	ブックレット
637	12-0 国際協力 13	わたしの権利 みんなの権利	ユニセフ	ブックレット
638	12-0 国際協力 14①②	子どもの権利条約 カードブック	ユニセフ	ブックレット
639	12-0 国際協力 15①②	ユニセフと世界のともだち	ユニセフ	ブックレット
640	12-0 国際協力 16①②	国際理解カード	国際協力推進協会	ワークキット
641	12-0 国際協力 17	学校と地域がつくる国際理解教育	武蔵野市国際交流協会	ブックレット
642	12-0 国際協力 18	学校と地域がつくる国際理解教育 NGO 編	武蔵野市国際交流協会	ブックレット
643	12-0 国際協力 19	授業に役立つ総合学習の手引き 平成 11 年度高校教師海外研修に参加して	国際協力事業団	ブックレット
644	12-0 国際協力 20	国際理解教育の手引き 先生が見てきた国際協力の舞台 H12 中学校	国際協力事業団	ブックレット
645	12-0 国際協力 21	国際理解教育の手引き 地球を枕に夢を見よう H12 高校	国際協力事業団	ブックレット
646	12-0 国際協力 22	国際理解教育の手引き H13 高校	国際協力事業団	ブックレット
647	12-0 国際協力 23	国際理解教育の手引き H13 中学校	国際協力事業団	ブックレット
648	12-0 国際協力 24	国際理解教育の手引き H14 高校	国際協力事業団	ブックレット
649	12-0 国際協力 25	国際理解教育の手引き H15 小学校	国際協力事業団	ブックレット
650	12-0 国際協力 26	協力隊体験を伝えよう 2 生きる力を育てるワークショップ集	青年海外協力協会	ブックレット
651	12-0 国際協力 27	国連ってなあに？	国連広報センター	ブックレット
652	12-0 国際協力 28	みんなの国連	国連広報センター	ブックレット
653	12-0 国際協力 29	いっしょにやろうよ 国際ボランティア NGO ガイドブック	三省堂	書籍
654	12-0 国際協力 30	市民参加で世界を変える	朝日新聞社	書籍
655	12-0 国際協力 31	せかいじゅうにおともだちをつくろう	国際協力推進協会	紙芝居
656	12-0 国際協力 32	食べものから世界が見える、どこからきたの？	国際協力推進協会	紙芝居
657	12-0 国際協力 33	ごはんのこしていいの？	国際協力推進協会	紙芝居
658	12-0 国際協力 34	「援助」する前に考えよう 参加型開発と PLA がわかる本	開発教育協会	書籍
659	12-0 国際協力 35	国際協力と開発教育－「援助」の近未来を探る	明石書店	書籍
660	12-0 国際協力 36	「国際協力」をやってみませんか？仕事として、ボランティアで、普段の生活でも	小学館	書籍
661	12-0 国際協力 37	貧しい人を助ける理由 遠くのあの子とあなたのつながり	日本評論社	書籍
662	13-0 韓国文化 1	一目で見る韓国	太郎次郎社	絵本（ハングル）
663	13-0 韓国文化 2	壇君神話	太郎次郎社	絵本（ハングル）
664	13-0 韓国文化 3	一目で見る韓国の歴史	太郎次郎社	絵本（ハングル）
665	13-0 韓国文化 4	高句麗への旅	太郎次郎社	絵本（ハングル）
666	13-0 韓国文化 5	韓国の伝統（的生活）	太郎次郎社	絵本（韓英）
667	13-0 韓国文化 6	韓国の遊び	太郎次郎社	絵本（韓英）
668	13-0 韓国文化 7	韓国のシンボル	太郎次郎社	絵本（韓英）
669	13-0 韓国文化 8	韓国の礼儀と風習	太郎次郎社	絵本（韓英）
670	13-0 韓国文化 9	韓国へ行こう！	太郎次郎社	絵本（韓英）
671	13-0 韓国文化 10	ソウルへ行こう！	太郎次郎社	絵本（韓英）
672	13-0 韓国文化 11	栗谷李珣	太郎次郎社	絵本（ハングル）
673	13-0 韓国文化 12	世宗大王	太郎次郎社	絵本（ハングル）
674	13-0 韓国文化 13	李舜臣	太郎次郎社	絵本（ハングル）
675	13-0 韓国文化 14	安重根	太郎次郎社	絵本（ハングル）
676	13-0 韓国文化 15	柳順寛	太郎次郎社	絵本（ハングル）
677	13-0 韓国文化 16	金九	太郎次郎社	絵本（ハングル）
678	13-0 韓国文化 17	興夫と懶夫	太郎次郎社	絵本（ハングル）
679	13-0 韓国文化 18	お日さまとお月さま	太郎次郎社	絵本（ハングル）
680	13-0 韓国文化 19	青大将ソング	太郎次郎社	絵本（ハングル）
681	13-0 韓国文化 20	孝行娘沈清	太郎次郎社	絵本（ハングル）
682	13-0 韓国文化 21	あずき粥婆さんと虎	太郎次郎社	絵本（ハングル）
683	13-0 韓国文化 22	一粒の粟で結婚した男	太郎次郎社	絵本（ハングル）
684	13-0 韓国文化 23	五人の力士（力持ち）	太郎次郎社	絵本（ハングル）
685	13-0 韓国文化 24	新聞記者が高校生に語る 日本と朝鮮半島 100 年の明日	彩流社	書籍
686	13-0 韓国文化 25	ユンノリ物語	太郎次郎社	絵本（ハングル）
687	13-1 韓国文化 1	韓国朝鮮のあいさつの言葉	太郎次郎社	パネル＊
688	13-1 韓国文化 2	韓国朝鮮の親族呼称	太郎次郎社	パネル＊
689	13-1 韓国文化 3	韓国朝鮮料理	太郎次郎社	パネル＊
690	13-1 韓国文化 4	民族衣装と紐の結び方	太郎次郎社	パネル
691	13-1 韓国文化 5	初誕生日の服と婚礼服	太郎次郎社	パネル
692	13-1 韓国文化 6	千字文	太郎次郎社	パネル＊
693	13-1 韓国文化 7	ハングル	太郎次郎社	パネル＊
694	13-1 韓国文化 8	ウリナラ旅行図と半島図	太郎次郎社	パネル＊
695	13-1 韓国文化 9	生活案内標示・交通安全標識	太郎次郎社	パネル＊
696	13-1 韓国文化 10	不思議な体	太郎次郎社	パネル＊
697	13-1 韓国文化 11	図形	太郎次郎社	パネル
698	13-1 韓国文化 12	色	太郎次郎社	パネル
699	13-1 韓国文化 13	数字	太郎次郎社	パネル＊
700	13-1 韓国文化 14	動物	太郎次郎社	パネル＊
701	13-1 韓国文化 15	果物・野菜	太郎次郎社	パネル＊

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
702	14-0 移民1	カリナのブラジルとニッポン	JICA 横浜海外移住資料館	紙芝居
703	14-0 移民2	弁当からミックスプレートへ	JICA 横浜海外移住資料館	紙芝居
704	14-0 移民3	ハワイにわたった日系移民	JICA 横浜海外移住資料館	紙芝居
705	14-0 移民4	海を渡った日本人	JICA 横浜海外移住資料館	紙芝居
706	14-0 移民5	移民カルタ	JICA 横浜海外移住資料館	カルタ
707	14-0 移民6	目で見えるブラジル日本移民の百年	風響社	写真集
708	14-0 移民7	日本・ブラジル 移民カルタ	JICA 横浜海外移住資料館	カルタ

国際教育 地球市民を地域とともに育てよう Part 21 報告書

発行日 令和5年(2023年)3月
 発 行 公益財団法人滋賀県国際協会
 〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1-1-20
 ピアザ淡海2階
 電話 077-526-0931
 FAX 077-510-0601
 E-mail info@s-i-a.or.jp
 URL <https://www.s-i-a.or.jp>
 印 刷 佐々木印刷有限会社



全体会 講義

「ワークショップ&ファシリテーション入門
ー学びあいの場をデザインするための技法ー」



分科会 1

「世界がもし100人の村だったら
ーあれから20年、そして未来へ」



分科会 2

「言葉がわからない体験ゲーム
何が起った？（震災編）」



分科会 3

「服・ファッションから考えよう
ー持続可能な未来にするためにー」



分科会 3

グループでの活動の様子



分科会 4

「今を知り、共に考えようー多文化共生×SDGsー」